

Panasonic®

取扱説明書

メモリーカードレコーダー

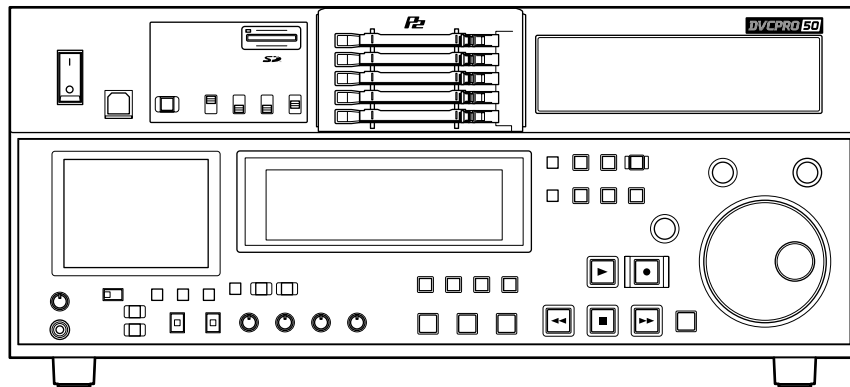
品番 AJ-SPD850



DVCPRO 50

DVCPRO

DN



このたびは、パナソニックメモリーカードレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（3～6ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	3	ラックマウント	60
概要	7	結露	61
付属品	7	お手入れについて	61
オプション	7	エラーメッセージ	62
特長	8	RS-232Cインターフェース	65
各部の名称と機能	9	コネクターの信号	68
・フロントパネル	9	定格	69
・表示パネル	14	保証とアフターサービス	71
・リアパネル	15		
記録と再生	17		
・P2カードを入れる	17		
・P2カードを取り出す	17		
・誤消去を防ぐには	18		
・P2カードアクセスLEDと P2カードの状態について	18		
接続	19		
ジョグ/シャトル(サーチダイヤル)	20		
クリップのサムネール操作	21		
プレイリスト機能	29		
・プレイリスト操作	29		
セットアップ(初期設定)	34		
セットアップメニュー	35		
・SYSTEMメニュー	37		
・USERメニュー	38		
<BASIC>	38		
<OPERATION>	42		
<INTERFACE>	44		
<EDIT>	45		
<TIME CODE>	46		
<VIDEO>	47		
<AUDIO>	49		
<V BLANK>	51		
<MENU>	54		
タイムコード/ ユーザーズビット/CTLについて	55		
スーパーインポーズ画面	56		
出力映像信号とリファレンス	57		
音声Vフェード機能	58		
音声の記録チャンネルと モニター出力の選択	59		
回路板	59		

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPLの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください。

(なお、原文(英文)で記載しております。)

また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、ICU-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ICUの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください。

(なお、原文(英文)で記載しております。)

3. 本製品には、Apache-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

Apacheの内容については、本機に付属しインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください。

(なお、原文(英文)で記載しております。)

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

設置・運搬について

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

電源コードや接続コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

コンセントや配線機器の定格を超えて使用しない！



禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

使用方法について

本機の上に水などの液体の入った容器、小さな金属物を置かない！



禁止

機械内部に入ると、故障や事故を起こす原因になります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



禁止

火災や感電の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

警告

使用方法について

本機を改造しない！



分解禁止

火災や感電の原因になります。

表示された電源電圧以外は使用しない！



禁止

火災や感電の原因になります。

機器が濡れたり、水などの液体が入らないようにする！



禁止

火災や感電の原因になります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、
特にご注意ください。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む！



火災や感電の原因になります。
痛んだプラグやゆるんだコンセントの
まま使用しないでください。

電源コード・電源プラグが破損するよ
うなことはしない！

傷つけたり、加工したり、高温部に近
づけたり、無理に曲げたり、ねじった
り、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショ
ート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

指定のカバー以外は外さない！



分解禁止

感電の原因になります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

異常時の処理について

本機を落としたり破損した
場合や、内部に異物や水な
どの液体が入った場合は、
電源スイッチを切り、電源
(プラグ) を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用す
ると、火災や感電の原
因になります。

- お買い上げの販売店にご相談
ください。

煙が出ている、変なにお
いや音がするなどの異常
状態の場合は、電源ス
イッチを切り、電源 (プ
ラグ) を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用す
ると、火災や感電の原
因になります。

- お買い上げの販売店に修理を
依頼してください。

電源コードが傷んだ場合
は、交換を依頼する！



そのまま使用す
ると、火災や感電の原
因になります。

- お買い上げの販売店にご相談
ください。

安全上のご注意 (つづき)

警告

お手入れについて

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない！



禁止

飲み込むと窒息死の原因となります。
• 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

設置について

油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない！



禁止

火災や感電の原因になる恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない！



禁止

感電の原因になる恐れがあります。

倒れたり動かないように、確実に固定する！



確実に固定しないと、事故につながる恐れがあります。

プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない！



禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

- 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

本機の通風孔をふさがない！



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。

- 風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

使用方法について

本機の上に重いものを置かない！



禁止

バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。

異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにする！



放置すると火災や、感電の原因になる恐れがあります。

本機に乗らない！



禁止

倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。

- 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！



コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因になる恐れがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源 (プラグ) を抜く！



電源プラグを抜く

火災や感電の原因になる恐れがあります。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまっただま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。

概要

AJ-SPD850 は、PCカードタイプ II に準拠したメモリーカード（別売のAJ-P2C002SGなど）を挿入する5つのスロットを備え、5枚のメモリーカードにDVCPR050、DVCPR0、DVの圧縮フォーマットで映像・音声等の記録・再生を行うことができるメモリーカードレコーダーです。

3.5型カラー液晶モニターを搭載し、各種設定、映像確認が簡単にできます。さらに、サムネイル画面表示を使った操作により映像・音声の検索・再生も容易にできます。

また、本機単体だけで、メモリーカードに記録された映像・音声の再生したい部分だけを選択し任意の順番に再生することができます。

従来の編集用VTRのプレーヤー側としても使用できます。

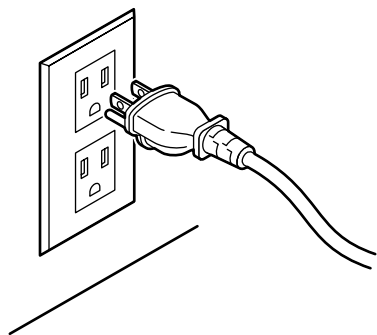
付属品

電源コード (3 芯) 1

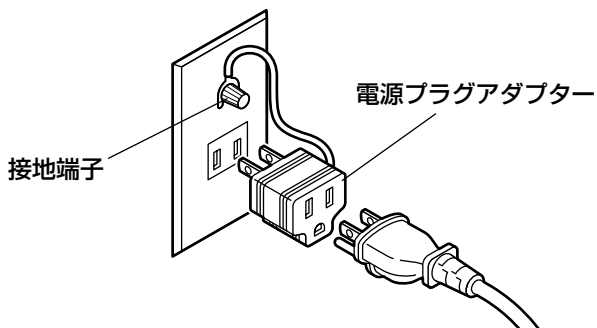
CD-ROM 1

電源プラグアダプター 1

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

オプション

- SDIインターフェースボード
AJ-YA755G

- IEEE1394インターフェースボード
AJ-YAD850G

- ラックマウントアダプター
AJ-MA75P

- DVDドライブユニット
AJ-DVD850G

オプションボードは、必ず上記の製品を使用してください。

特長

■ メモリーカードへのファイルの記録・再生

「P2」ロゴがついたメモリーカード（別売のAJ-P2C002SGなど、以後、P2カードと記載します）にDVCPR050、DVCPR0、DVの圧縮フォーマットで映像・音声等の記録・再生を行うことができます。P2カードへの記録は、映像・音声はMXFファイル（SMPTE390M）、クリップメタデータファイルはXMLなどで行われます。

■ 5つのPCカードスロット

PCカードタイプIIのカードを挿入するPCカードスロットを5つ備え、そこに挿入されたP2カードに映像・音声等の記録・再生を行うことができます。

■ ビデオモニター機能

フロントパネルに3.5型カラー液晶モニターを搭載し、サムネイル画面表示などにより簡単に映像の検索・確認ができます。

■ プレイリスト作成・再生機能

フロントパネルのIN/OUT ENTRYボタン操作などにより、本機単体で5枚のP2カードに記録された映像・音声の再生したい部分だけを選択し任意の順番に再生することができます。作成されたプレイリストは、SDメモリーカードに記録することもできます。

■ ダイヤルジョグ/ダイヤルシャトル

ジョグ操作は、-1.0~+1.0倍速でのスロー再生が可能です。シャトル操作は、正・逆方向に最大100倍速まで再生可能で、10倍速以下までは、音声付き再生も可能です。

■ タイムコード/編集用プレーヤー機能

本機は、TCG（タイムコードジェネレーター）/TCR（タイムコードリーダー）を内蔵しています。タイムコードは、内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCを、タイムコードとして本機に記録することが可能です。また、RS-422Aを用いた編集システムのプレーヤーとしても使用できます。

■ ビデオエンコーダコントロール機能

フロントパネルに搭載したエンコーダ調整ボリュームにより、ビデオ出力レベル、クロマレベル、セットアップレベル、ヒュー（クロマ位相）などを調整することができます。

■ 525i/625i 切り替え記録再生

記録映像信号（525i/625i）に合わせて切り替え（セットアップメニューNo.070）を行うことにより、それぞれの信号を記録再生することができます。

■ 多機能なインターフェース

- **アナログビデオ入出力**
コンジット・コンポーネント入出力を標準装備しています。
- **AES/EBU オーディオ入出力**
デジタルオーディオ入出力を装備しています。
- **シリアルデジタル入出力**
SDIインターフェースボード（オプション：AJ-YA755G）を使用すると、シリアルデジタルコンポーネント信号のインターフェースが行えます。
- **IEEE1394入出力**
IEEE1394インターフェースボード（オプション：AJ-YAD850G）を使用すると、IEEE1394デジタル信号のインターフェースが行えます。
- **RS-232C リモート**
RS-232Cのリモート端子を装備しています。
- **USB2.0**
外部パーソナルコンピュータなどとUSB2.0で接続することにより、本機のスロットに挿入されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。この際、パーソナルコンピュータには、USB専用ドライバーなどをインストールする必要があります。（USB2.0でご使用ください）
- **LAN**
100BASE-TX/10BASE-Tでネットワークと接続することができます。

■ 4チャンネルの高音質デジタルオーディオ

4チャンネルのPCMオーディオを持ち、各チャンネルは独立して記録ができるほか、チャンネルミックスが可能です。

■ メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機の表示パネル（蛍光表示管）、3.5型カラー液晶モニター、モニターTV表示（OUT 3出力使用時）のセットアップメニューを見ながら行います。

■ ラックマウント

本機は4Uサイズで、ラックマウントアダプター（オプション、AJ-MA75P）を使用すると19インチラックにも取り付けることができます。

■ 記録時間

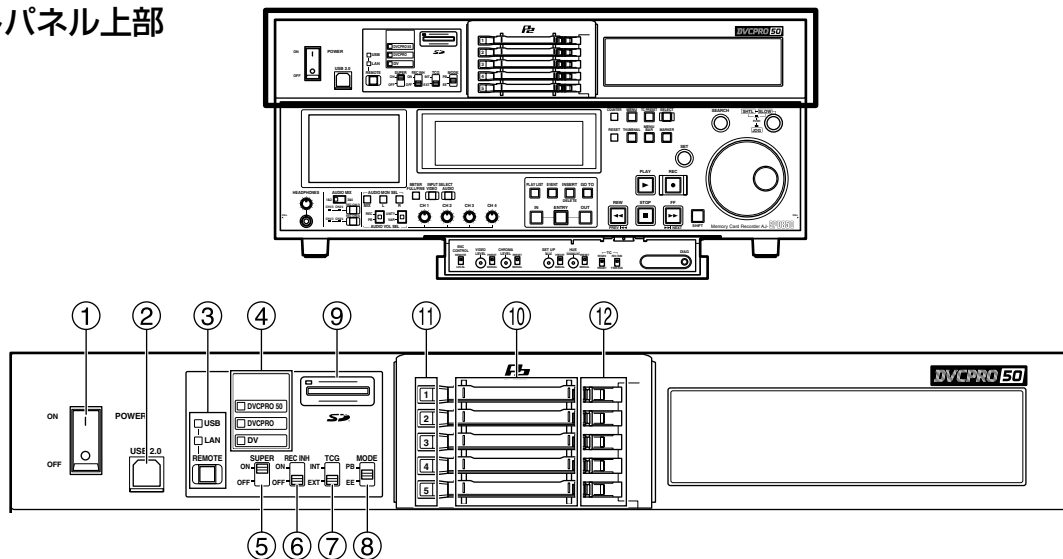
（使用枚数：1枚）

カード品番	記録方法	
	DVCPR0 (オーディオ 2CH)	DVCPR050 (オーディオ 4CH)
AJ-P2C002SG	約 8 分	約 4 分
AJ-P2C004HG	約 16 分	約 8 分

（詳細は、メモリーカードの取扱説明書をご覧ください）

各部の名称と機能

フロントパネル上部



① POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。

② USB2.0端子 (Type B)

外部のパーソナルコンピュータなどと接続します。
(19ページ参照)

③ REMOTEボタンとREMOTE表示部

9ピンのREMOTE、RS-232C、LAN、USB2.0の各端子を使って、外部から本機をコントロールしたり、P2カード内のファイルのコピーなどを行うときに切り替えます。REMOTEボタンを押すと [消灯] → [REMOTE点灯] → [消灯]、SHIFTボタンと同時に押すと [消灯/REMOTE点灯] → [LAN点灯] → [USB点灯] → [消灯] と切り替わります。
(ただし、サムネール、プレイリスト表示中は動作しません。)

REMOTEボタン点灯：

セットアップメニューNo.201 (9P SEL)、No.204 (RS232C SEL) で設定した外部から本機をコントロールできます。

LAN点灯：

100BASE-TX/10BASE-T接続によりネットワーク上のパソコンからP2カード内のファイルの確認などができます。このとき、本機フロントパネルからの操作はできません。

USB点灯：

外部パーソナルコンピュータなどとUSB2.0で接続することにより、本機のスロットに挿入されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。このとき、本機フロントパネルからの操作はできません。また、パーソナルコンピュータには、USB専用ドライバなどをインストールする必要があります。

④ フォーマット表示部

記録フォーマットやP2カードに記録されているファイルフォーマットが表示されます。

DVCPR050 : DVCPR050 (50Mbps) の記録および再生モードを示します。

DVCPR0 : DVCPR0 (25Mbps) の記録および再生モードを示します。

DV : DVの記録および再生モードを示します。

⑤ SUPERスイッチ

ON : VIDEO OUT 3端子にタイムコード等のスーパーを出力、また、SDI OUT 3端子 (オプション) が付いている場合は、この端子にもタイムコード

等のスーパーが出力されます。

OFF : スーパーを出力しません。

⑥ REC INHスイッチ

P2カードへの記録の禁止/許可を選択します。

ON : P2カードへの記録を禁止します。このとき、表示パネルのREC INH ランプが点灯します。

OFF : P2カードの書き込み禁止機構が記録可能のときに、P2カードへの記録が可能です。

⑦ TCGスイッチ

INT : 本機内蔵のタイムコードを使います。

EXT : タイムコード入力端子または、映像信号のVITCから入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) で設定します。

⑧ MODEスイッチ

ストップモード中の信号を選択します。

PB : P2カードから再生される信号を出力します。

EE : INPUT SELECTボタンで選択された入力信号を出力します。

⑨ SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードを挿入します。

挿入 : カードのラベル面を上にしてコーナーカット側から入れ、ロックするまで挿入します。

取り出し : ランプが点灯していないことを確認し、カードを挿入した方向に押しつけてロックを解除します。

ノート :

SDメモリーカード以外は、挿入しないでください。

⑩ P2カードスロット

P2カードをEJECTボタンが飛び出すまでしっかり挿入します。カード挿入後は、ボタンを倒しておいてください。(17ページ参照)

⑪ P2カードアクセスLED

18ページ参照。

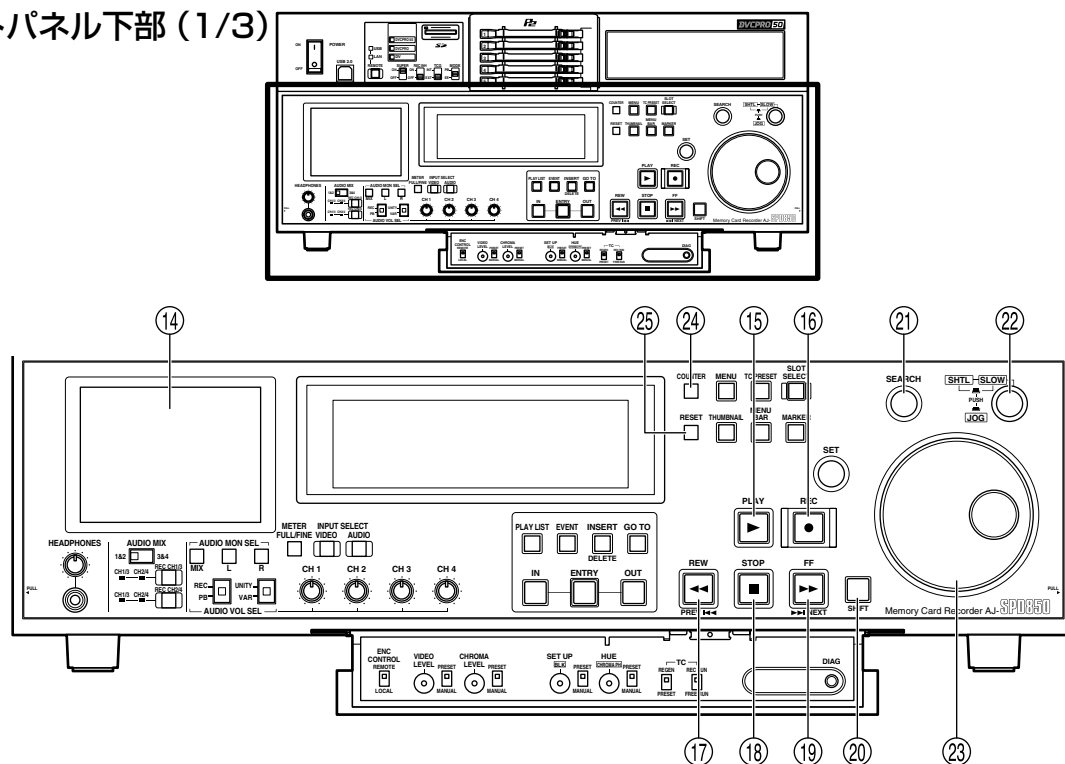
⑫ EJECTボタン

P2カードスロットに挿入したP2カードを取り出すときに使用します。ボタンを起こし、強く押します。

P2カードアクセスLED点灯中は (17ページ参照)、操作しないでください。

各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル下部 (1/3)



⑭ 3.5型カラー液晶モニター

サムネイル画面表示などにより映像・音声の検索・確認ができます。

⑮ PLAYボタン

押すと再生が始まります。
このボタンとRECボタンを同時に押すと記録が始まります。

⑯ RECボタン

ストップモード中にこのボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。
MODEスイッチがPBのとき、ストップモード中にこのボタンを押すと、E-Eモードの画像と音声をモニターできます。STOPボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

⑰ REW/PREVボタン

押すと、巻き戻し再生します。
速度は、セットアップメニューNo.102 (FF.REW MAX) で選択できます。
MODEスイッチがPBのとき、ストップモード中にSHIFTボタンを押しながらREWボタンを押すと前のクリップ*1の頭出しを行います。P2カードにまたがって記録されたクリップの場合、次のカードの先頭の頭出しも行います。

※1 クリップについて：

クリップとは、記録を開始して停止するまでの一回の操作によって生成される映像、音声、および付加情報などを含む、ひとかたまりのデータのことです。

この操作を繰り返すことにより複数のクリップを作ることができます。

また、記録を開始した時の映像がそのクリップの代表映像としてサムネイル画面に表示されます。

⑱ STOPボタン

押すとストップモードに移行し、MODEスイッチが「PB」のときには静止画をモニターすることができます。

⑲ FF/NEXTボタン

押すと、早送り再生します。
速度は、セットアップメニューNo.102 (FF.REW MAX) で選択できます。
MODEスイッチがPBのとき、ストップモード中にSHIFTボタンを押しながらFFボタンを押すと次のクリップおよび、カードの先頭の頭出しを行います。

⑳ SHIFTボタン

FFボタン/REWボタンなどと同時に押して使用します。

㉑ SEARCHボタン

押すとサーチモードになります。サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。

㉒ SHTL/SLOWボタン

サーチダイヤルをSHTL、もしくはSLOWとして用いるときの選択ボタンです。
このボタンを押す毎に、サーチダイヤルがSHTLとSLOW交互に切り替わります。

㉓ サーチダイヤル

映像の確認、検索のためのダイヤルです。
ダイヤルは、押すごとにSHTL/SLOWモードとJOGモードが交互に切り替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。
POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILLの位置に戻らないと動作しません。(20ページ参照)

㉔ COUNTERボタン

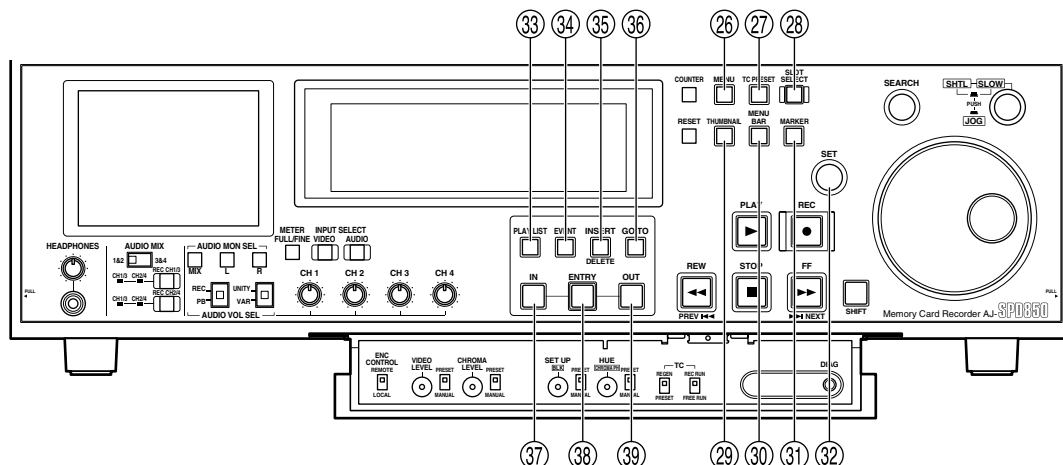
このボタンを押す毎に、表示パネルのカウンター表示が [CTL] → [TC] → [UB] と切り替わります。

㉕ RESETボタン

CTLモードのときは、このボタンを押すとカウンター表示が [0:00:00:00] になります。
TCやUBモードのときは、TC PRESETボタンを押しながらこのボタンを押すと、ジェネレーターをリセットします。

各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル下部 (2/3)



②⑥ MENUボタン

このボタンを押すと、3.5型カラー液晶モニターやモニターテレビにはセットアップメニューを表示し（ただし、VIDEO OUT 3端子またはSDI OUT 3端子（オプション）を使用しているとき）、本機の表示パネルにはセットアップメニュー番号を表示します。再度押すと、セットアップメニューの設定から抜け出し、元に戻ります。

②⑦ TC PRESETボタン

TCやUBの値を設定するときに使用します。（55ページ参照）

TCやUBの値を設定するときに、まずこのボタンを押してデータの進行を止めます。表示が点滅している桁を変更します。（ただし、サムネール表示中は動作しません。）

②⑧ SLOT SELECTボタン

ストップ中、記録を開始するP2カードを設定します。このボタンを押すと、記録可能なP2カードのスロット番号が順に切り替わります。

②⑨ THUMBNAILボタン

このボタンを押すと、THUMBNAILボタンが点灯し3.5型カラー液晶モニターやモニターテレビにはサムネール画面を表示します。

再度押すと、サムネール画面から抜け出し、元に戻ります。THUMBNAILボタンが消灯します。

③⑩ MENU BARボタン

サムネール画面を表示中に、このボタンを押すとMENU BARボタンが点灯し、操作位置を示すポインタを表示下部のメニューへ移動することができます。再度押すと、元に戻ります。

③⑪ MARKERボタン

クリップのマーカのON/OFFを行います。

サムネール画面を表示中に、このボタンを押すと、ポインタ位置のクリップのマーカをON/OFFすることができます。

③⑫ SETボタン

サムネール画面表示中やプレイリストを作成するときやセットアップメニューの設定内容を確定するときに押します。

③⑬ PLAYLISTボタン

プレイリストを作成するときや作成したプレイリストに従い再生するときを押します。このボタンを押すと、PLAYLISTボタンが点灯し、3.5型カラー液晶モニターやモニターテレビにはプレイリスト画面を表示（ただし、

VIDEO OUT 3端子またはSDI OUT 3端子（オプション）を使用しているとき）します。

再度押すと、プレイリスト画面から抜け出し、元に戻ります。PLAYLISTボタンが消灯します。

③⑭ EVENTボタン

PLAYLISTボタンが点灯状態の時、このボタンを押すとEVENTボタンが点灯し、プレイリストのイベント（IN/OUT）設定モードとなります。

再度押すと、イベント（IN/OUT）設定モードから抜け出し、元に戻ります。EVENTボタンが消灯します。

③⑮ INSERT/DELETEボタン

プレイリストのイベント間に、新規にイベントを追加したい場合や不要なイベントを削除する場合に使用します。プレイリスト表示中（PLAYLISTボタン点灯）、挿入したいイベントを選択し、このボタンを押すと、新たにイベントを追加することができます。プレイリスト表示中（PLAYLISTボタン点灯）、削除したいイベントを選択し、SHIFTボタンを押しながら、このボタンを押すと、選択したイベントを削除することができます。

③⑯ GO TOボタン

プレイリストに登録されている各イベントのIN点、OUT点を頭出ししたい場合に使用します。プレイリスト表示中（PLAYLISTボタン点灯）に、イベントを選択し、INボタン（OUTボタン）を押しながらこのボタンを押すと、IN点（OUT点）を頭出しすることができます。

③⑰ INボタン

プレイリストを作成するときに使用します。プレイリスト作成モード時（PLAYLISTボタンとEVENTボタン点灯）、このボタンと、ENTRYボタンの同時押しにて、イベントのIN点が設定できます。また、RESETボタンとの同時押しにて、選択されたイベントのIN点の削除が可能です。

③⑱ ENTRYボタン

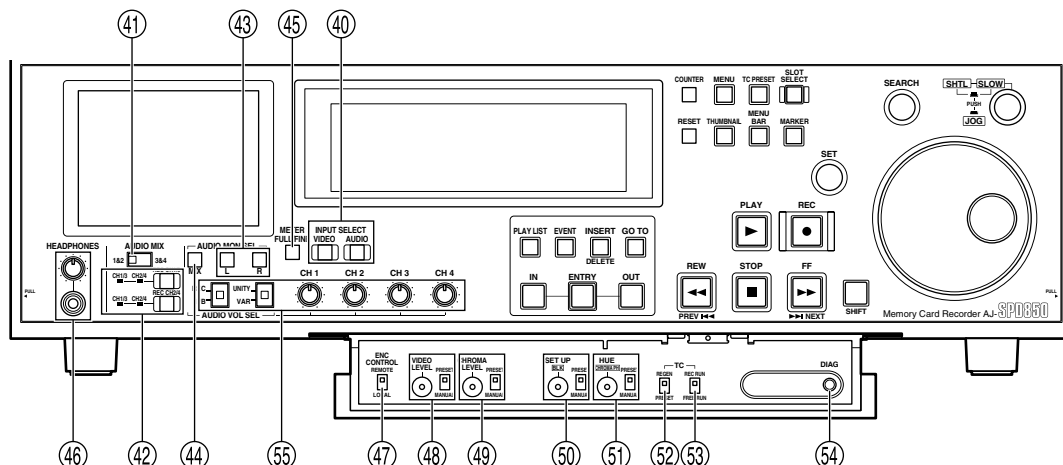
プレイリストを作成するときに使用します。プレイリスト作成モード時（PLAYLISTボタンとEVENTボタン点灯）、このボタンと、INボタン（OUTボタン）の同時押しにて、イベントのIN点（OUT点）が設定できます。

③⑲ OUTボタン

プレイリストを作成するときに使用します。プレイリスト作成モード時（PLAYLISTボタンとENTRYボタン点灯）、このボタンと、ENTRYボタンの同時押しにて、イベントのOUT点が設定できます。また、RESETボタンとの同時押しにて、選択されたイベントのOUT点の削除が可能です。

各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル下部 (3/3)



④ INPUT SELECTボタン

ビデオとオーディオの入力信号を切り替えます。
また、ビデオ入力信号は、セットアップメニュー No.600 (INT SG) で選択された、内部信号に切り替えることもできます。

VIDEO :

VIDEOボタンを押す毎に、入力ビデオ信号が、[Y PB PR] → [CMPST] → [SDI] (オプション) → [1394] (オプション) → [SG (SG/SG1/SG2)] の順に切り替わり、選択されます。

SGのときの信号は、セットアップメニューNo.600 (INT SG) で選択された内部信号に切り替わります。

AUDIO :

AUDIOボタンを押す毎に、入力オーディオ信号が、[ANALOG] → [AES/EBU] → [USER SET] → [SDI] (オプション) → [1394] (オプション) → [SG] の順に切り替わり、選択されます。

USER SETは、PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4に記録する入力信号を個別に記録する機能で、セットアップメニューと併用して使用します。

例)

設定

AUDIOボタン

USER SET

セットアップメニュー

No.715 (CH1 IN SEL) : ANA

No.716 (CH2 IN SEL) : DIGI

No.717 (CH3 IN SEL) : DIGI

No.718 (CH4 IN SEL) : ANA

No.719 (D IN SEL12) : AES

No.720 (D IN SEL34) : SIF

P2カードに記録されるPCMオーディオ信号

CH1 : アナログ入力信号

CH2 : AES/EBUデジタル信号

CH3 : SDI入力のデジタル信号

CH4 : アナログ入力信号

ノート :

- INPUT SELECTボタンで行う入力切り替え (ビデオとオーディオ) は、セットアップメニュー No.112 (V IN SEL INH) とNo.113 (A IN SEL INH) により禁止することができます。
- SDI、1394の項目は、オプションボード (AJ-YA755G, AJ-YAD850G) が挿入されていないと選択できません。

④ AUDIO MIXスイッチ

オーディオのCH1/CH2/CH3/CH4に記録する入力オーディオ信号を切り替えます。

1&2 : REC CH1/CH3ボタンでオーディオCH1への入力オーディオ信号を切り替えます。

REC CH2/CH4ボタンでオーディオCH2への入力オーディオ信号を切り替えます。

3&4 : REC CH1/CH3ボタンでオーディオCH3への入力オーディオ信号を切り替えます。

REC CH2/CH4ボタンでオーディオCH4への入力オーディオ信号を切り替えます。

④ REC CH1/CH3ボタン/REC CH2/CH4ボタン

オーディオのCH1/CH2/CH3/CH4に記録する入力オーディオ信号を切り替えることができます。

AUDIO MIXスイッチ ④ を [1&2] に設定時、REC CH1/3ボタンを押すごとに A→B→C と切り替わります。

(■ : 点灯 □ : 消灯)

CH1/3 CH2/4

A ■ □ CH1にCH1の信号を記録します

B □ ■ CH1にCH2の信号を記録します

C ■ ■ CH1にCH1+CH2の信号を記録します

AUDIO MIXスイッチ ④ を [1&2] に設定時、REC CH2/4ボタンを押すごとに A→B→C と切り替わります。

(■ : 点灯 □ : 消灯)

CH1/3 CH2/4

A □ ■ CH2にCH2の信号を記録します

B ■ ■ CH2にCH1+CH2の信号を記録します

C ■ □ CH2にCH1の信号を記録します

AUDIO MIXスイッチ ④ を [3&4] に設定時、REC CH1/3ボタンを押すごとに A→B→C と切り替わります。

(■ : 点灯 □ : 消灯)

CH1/3 CH2/4

A ■ □ CH3にCH3の信号を記録します

B □ ■ CH3にCH4の信号を記録します

C ■ ■ CH3にCH3+CH4の信号を記録します

AUDIO MIXスイッチ ④ を [3&4] に設定時、REC CH2/4ボタンを押すごとに A→B→C と切り替わります。

(■ : 点灯 □ : 消灯)

CH1/3 CH2/4

A □ ■ CH4にCH4の信号を記録します

B ■ ■ CH4にCH3+CH4の信号を記録します

C ■ □ CH4にCH3の信号を記録します

各部の名称と機能 (つづき)

④③ AUDIO MONITOR SELECT (L/R)

MONITOR L/R端子に出力する音声信号を切り替えます。Lボタンを押す毎に、MONITOR L端子に出力する信号を [CH1] → [CH2] → [CH3] → [CH4] と切り替えます。また、Rボタンを押す毎に、MONITOR R端子に出力する信号を [CH1] → [CH2] → [CH3] → [CH4] と切り替えます。

現在、どの信号を選択しているかは、レベルメーター表示部のL/Rランプの点灯で表示されます。

④④ MONITOR MIXボタン

MONITOR L/R端子に出力するミックス信号を切り替えます。

このボタンを押しながらMONITOR SELECT Lボタンを押す毎に、MONITOR L端子に出力する信号を [CH1+CH2] → [CH3+CH4] → [CH1+CH3] → [CH2+CH4] → [ミックス解除] と切り替えます。MONITOR R端子に出力するミックス信号は、MONITOR SELECT Rボタンで同様に切り替えます。

④⑤ METER (FULL/FINE) 切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示 (目盛) を切り替えるボタンです。(14ページ参照)

FULL モード:

標準目盛りになります。(−∞~0dBの範囲)

FINE モード:

0.5 dB毎のスケールになります。

“■” の位置が基準レベルの−20dBとなり、“●” を1dBの目盛りとして表示します。

④⑥ ヘッドホンジャック/ヘッドホン音量調整つまみ

ヘッドホンジャックにステレオヘッドホンを接続すると、記録・再生中の音声をヘッドホンでモニターできます。

④⑦ ENC CONTROL (REMOTE/LOCAL)

エンコーダーコントロールを本機で行うか外部から行うかを切り替えます。

REMOTE:

エンコーダーコントロールを外部から行います

LOCAL:

エンコーダーコントロールを本機で行います。

④⑧ VIDEO LEVEL調整ボリュームとスイッチ

ENC CONTROLが [LOCAL] のとき、ビデオ出力レベルの調整ができます。

スイッチが [PRESET] のときには、ビデオ出力レベルはユニティ値 (0dB) になります。

スイッチが [MANUAL] のときには、ボリュームでビデオ出力レベルの調整ができます。

④⑨ CHROMA LEVEL調整ボリュームとスイッチ

ENC CONTROLが [LOCAL] のとき、クロマレベルの調整ができます。

スイッチが [PRESET] のときには、クロマレベルはユニティ値 (0dB) になります。

スイッチが [MANUAL] のときには、ボリュームでクロマレベルの調整ができます。

⑤① SET UP LEVEL調整ボリュームとスイッチ

ENC CONTROLが [LOCAL] のとき、セットアップレベルの調整ができます。

スイッチが [PRESET] のときには、セットアップレベルはユニティ値 (0 IRE) になります。

スイッチが [MANUAL] のときには、ボリュームでセットアップレベルの調整ができます。

⑤② HUE LEVEL調整ボリュームとスイッチ

ENC CONTROLが [LOCAL] のとき、ヒューの調整ができます。

スイッチが [PRESET] のときには、ヒューはユニティ値 (0°) になります。

スイッチが [MANUAL] のときには、ボリュームでヒューの調整ができます。

⑤③ TC REGEN/PRESETスイッチ

REGEN:

タイムコードリーダがP2カードから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレータが同期します。TC/UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo.503 (TCG REGEN) で選択します。

PRESET:

操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットが可能になります。

⑤④ TC REC RUN/FREE RUNスイッチ

REC RUN:

記録中だけタイムコードが歩進します。

上記REGEN/PRESETが [REGEN] の時、常にタイムコードが歩進します。

FREE RUN:

電源が投入されている間、動作モードに関係なくタイムコードが歩進します。

⑤⑤ DIAGボタン

このボタンを押すと本機の情報を表示します。再度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。(ただし、サムネール表示中は動作しません。)

本機の情報には「HOURS METER」情報、「WARNING」情報、「UMID」情報があります。

これらの情報の表示切り替えは、サーチボタンを押すことによって行います。

「HOURS METER」画面では本機のシリアルNo.、通電時間、電源の入切回数等を表示します。

「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。

⑤⑥ AUDIO VOL SEL スイッチ

REC/PB スイッチ

REC: オーディオボリュームで、記録レベルの調整ができます。

PB: オーディオボリュームで、再生レベルの調整ができます。

UNITY/VAR スイッチ

UNITY: オーディオボリュームの位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号記録再生します。

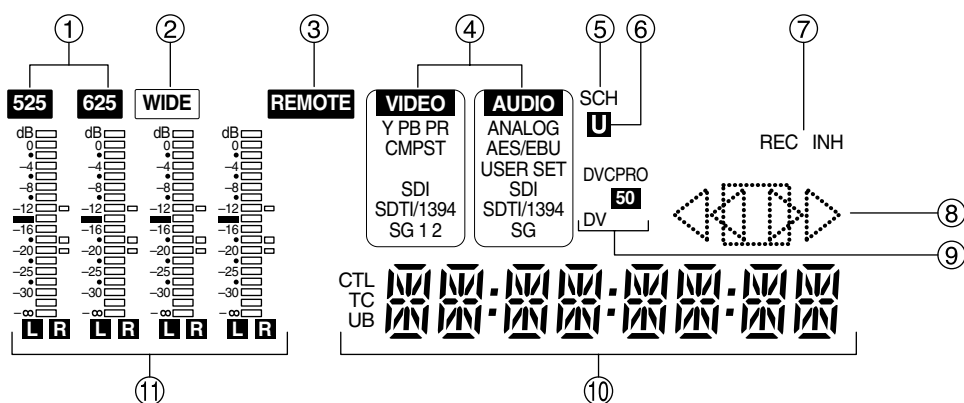
VAR: オーディオボリュームで調整されたレベルでオーディオ信号を記録・再生します。

オーディオボリューム

オーディオ信号 (CH1/CH2/CH3/CH4) の記録レベルと再生レベルが調整できます。

各部の名称と機能 (つづき)

表示パネル



① TVシステム表示部

選択されたTV システムが表示されます。
セットアップメニューNo.070 (TV SYSTEM) で525インターレースと625インターレースを切り替えることができます。(41ページ参照)

525 : 525インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。

625 : 625インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。

② WIDEランプ

16 : 9のワイド画面情報を記録するときに点灯します。
セットアップメニューNo.645 (WIDE SELECT) で、ワイド画面情報の記録を選択することができます。
再生時は、ワイド画面情報が記録されているときに点灯します。

③ REMOTEランプ

CONTROLボタンで、REMOTEにしたときに点灯します。

④ INPUT SELECT表示部

選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。アナログオーディオを除き、選択された入力信号がない場合は、点滅します。

VIDEO

Y PB PR : アナログ・コンポーネント・ビデオ信号
CMPST : アナログ・コンポジット・ビデオ信号
SDI : シリアル・デジタル・ビデオ信号 (オプション)

SDTI/1394 : 圧縮デジタル信号 (オプション)
SG/SG 1/SG 2 : 内部基準信号

AUDIO

ANALOG : アナログ・オーディオ信号
AES/EBU : デジタル・オーディオ信号
USER SET : 記録オーディオ信号の選択
SDI : シリアル・デジタル・オーディオ信号 (オプション)

SDTI/1394 : 圧縮デジタル信号 (オプション)
SG : 内部基準信号

⑤ SCHランプ

外部同期信号 (REF VIDEO) のSCH位相が、一定の範囲内にあるときに点灯します。
それ以外の場合は消灯します。

⑥ Uランプ

E-Eモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに点灯します。
再生時は、UMID情報が記録されているときに点灯します。

⑦ REC/REC INHランプ

REC :
記録状態のときに点灯します。

REC INH :
記録禁止状態 (フロント上部のREC INHスイッチが [ON] か、すべてのP2カードが書き込み禁止状態) のときに点灯します。このときには、記録はできません。

⑧ 動作モード表示

動作状態を表示します。

- ▷ : 通常再生と記録
- ▶▶ : 1倍速より遅い速度の再生
- ▶▶▶ : 1倍速より速い速度の再生
- ▶▶▶▶ : FF
- ◀ : 1倍速の逆再生
- ◀◀ : 1倍速より遅い速度の逆再生
- ◀◀◀ : 1倍速より速い速度の逆再生
- ◀◀◀◀ : REW
- ◻◻ : STILL

⑨ フォーマット表示

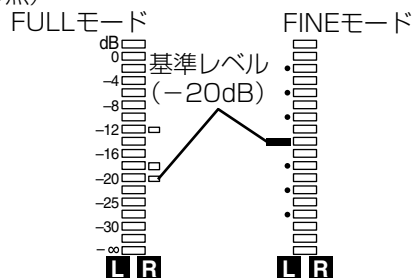
記録フォーマットや挿入されているP2カードに記録されているフォーマットが表示されます。

⑩ カウンター表示

カードカウンターやタイムコード等を表示します。
表示している値の種類は、CTL/TC/UBで表示します。

⑪ レベルメーター

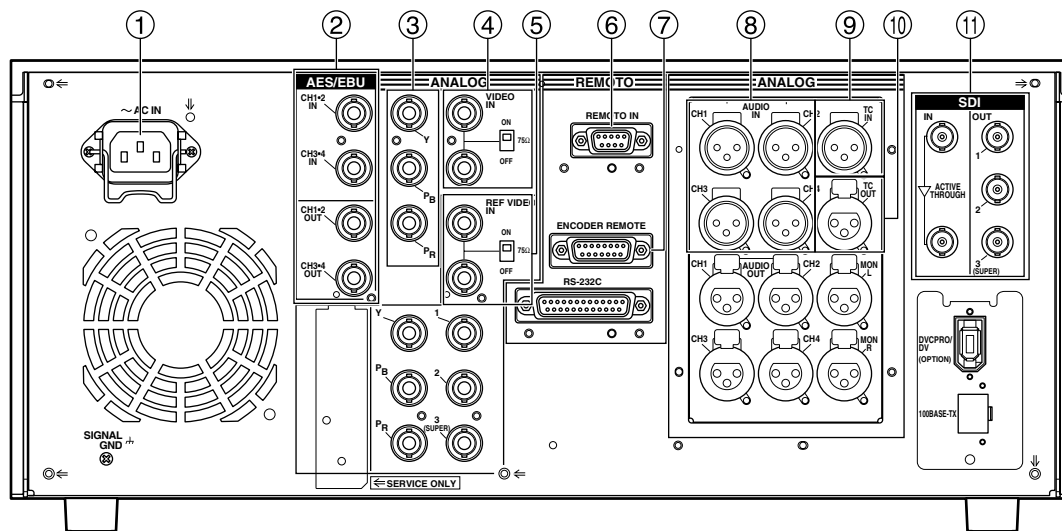
PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4の各レベルを表示します。
オーディオ信号は、記録時およびE-E選択時には入力信号のレベルを表示し、再生時には出力信号の各レベルを表示します。
オーディオレベル表示は、METER切り替えボタンでFULLモードとFINEモードに切り替わります。(13ページ参照)



●を1dBの目盛りとして表示します。

各部の名称と機能 (つづき)

リアパネル (1/2)



① AC INコネクタ

付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

② DIGITAL AUDIO IN/OUT端子

AES/EBU規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

ノート:

入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していない場合、オーディオ出力信号にノイズが発生します。

③ ANALOG COMPONENT VIDEO IN端子

アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力します。

④ ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。2つの入力端子は、ループスルーでつながっています。本機で終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

⑤ REF VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ

リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。カラーバースト付きの信号を入力してください。本機で終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

ノート:

リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用するをお勧めします。

⑥ リモートコントロール端子

本機と外部コントローラを接続して、外部から本機を操作することができます。

⑦ ENCODER REMOTE端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整するときに、外部のエンコーダーリモートコントローラを接続します。

⑧ ANALOG AUDIO IN端子

アナログオーディオの入力端子です。

⑨ TIME CODE IN端子

外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。

⑩ TIME CODE OUT端子

再生時は再生タイムコードを出力します。記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレーターの発生するタイムコードを出力します。

⑪ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子 (オプション)

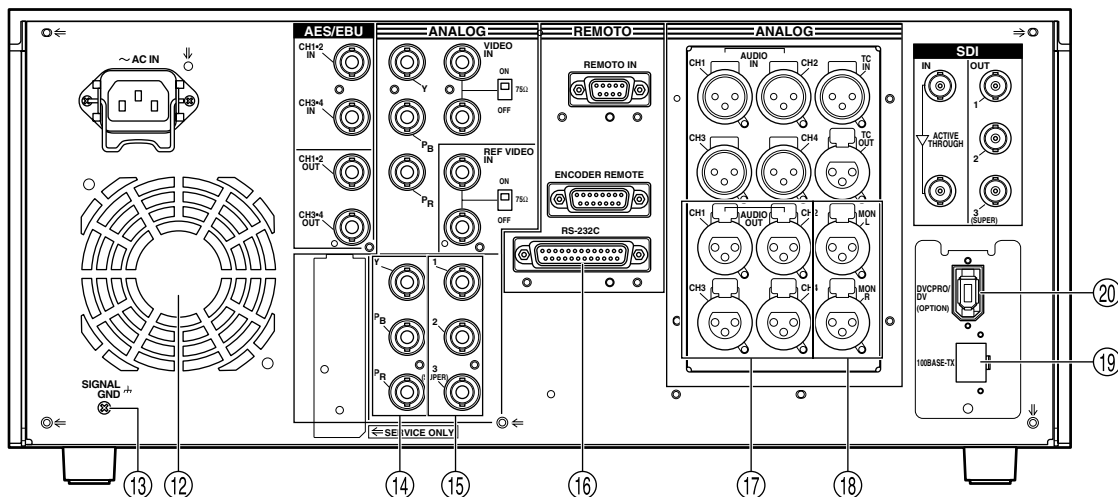
SDIインターフェースボード (オプション: AJ-YA755G) を本機に搭載すると、SMPTE259M-C規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力が可能になります。SDI OUT 3の端子は、スーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。スーパーのON/OFFは、フロントパネル上部のSUPERスイッチ⑤で選択します。

ノート:

入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していない場合、オーディオ出力信号にノイズが発生します。

各部の名称と機能 (つづき)

リアパネル (2/2)



⑫ ファン

本機の冷却用のファンです。
ファンが異常停止したときは、カウンター表示部に“E-10”が表示されます。

⑬ SIGNAL GND端子

ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。

⑭ ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子

アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。

⑮ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。
VIDEO OUT 3の端子からは、スーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。スーパーのON/OFFは、フロントパネル上部のSUPERスイッチ⑤で選択します。

⑯ RS-232C端子

パーソナルコンピューター等を接続して、本機を操作することができます。

⑰ ANALOG AUDIO OUT端子

アナログ・オーディオ信号を出力します。

⑱ MONITOR OUT端子

再生時には、オーディオ信号 (CH1/CH2/CH3/CH4) の中からフロントパネル下部のMONITOR MIXボタン④で切り替えたミックス信号を出力します。

⑲ LAN端子

100BASE-TX/10BASE-Tでネットワークと接続することができます。

ノート:

LANを接続してご使用の際は、P2カードを抜かないでください。

⑳ オプション端子

オプションボード (AJ-YAD850G) を取り付けると、IEEE1394インターフェースに対応できます。

ノート:

リアパネルに接続する各種ケーブル (ACケーブルを除く) は、すべてシールド付きケーブルをご使用下さい。

特に、シリアルデジタル信号端子 (DIGITAL AUDIO IN/OUT端子およびSERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子) については、ダブルシールド付きケーブルをご使用ください。

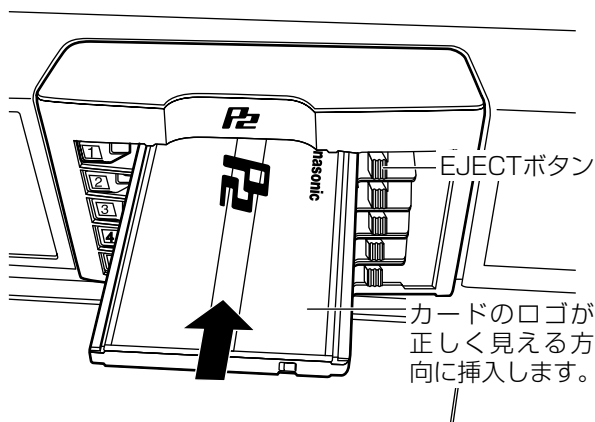
記録と再生

P2カードを入れる

ノート:

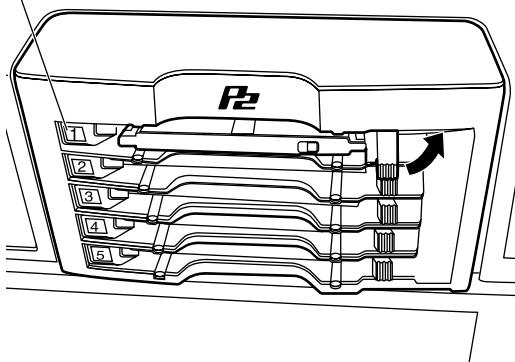
本機を最初に使用するときには、必ず内蔵の時計の設定を、セットアップメニューNo.069 (CLOCK SET) で先に行ってください。

- (1) 本機のPOWERスイッチをONにする
- (2) P2カードスロットにP2カードを挿入し、EJECTボタンが飛び出てくるまで押し入れる



- (3) 飛び出たEJECTボタンを右に倒す。

P2カード
アクセスLED



- 本機にP2カードを挿入すると、P2カードアクセスLEDによりP2カードの状態表示を行います。P2カードの状態表示については「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」を参照してください。
- ストップモード中にRECボタンとPLAYボタンを同時に押すと、オレンジ色に点灯しているP2カードに記録が始まります。

ノート:

- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入してもP2カードアクセスLEDは消灯のままP2カードは認識されません、再生終了後に認識されます。
- 記録中は、他のスロットにP2カードを挿入するとP2カードアクセスLEDが点滅しP2カードを認識しますので、認識中はP2カードを取り出さないでください。

P2カードを取り出す

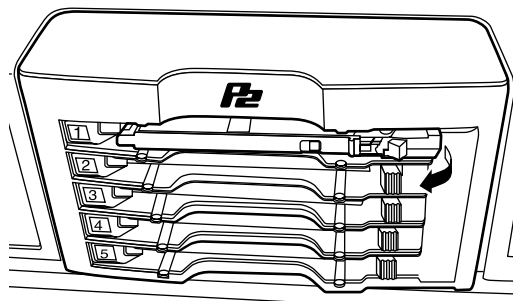
アクセス中や、挿入後の認識中 (P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅中) に、P2カードは、取り出さないでください。

- (1) STOPボタンを押す

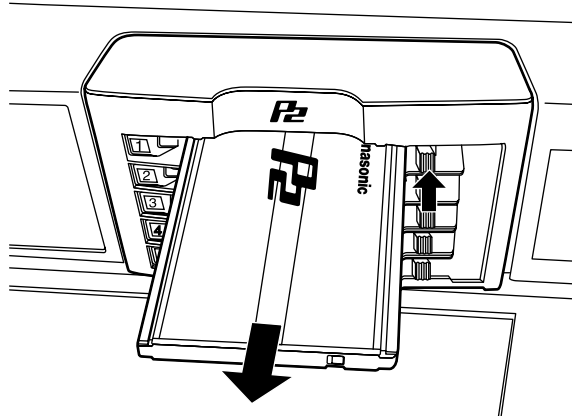
取り出したいP2カードのアクセスLEDがオレンジ色の点滅している場合は、STOPボタンを押して点滅を停止させてください。

点滅が停止しないときは、STOPボタンを1秒以上押し続けてください。

- (2) EJECTボタンを起こす



- (3) EJECTボタンを押し込んでP2カードを取り出す



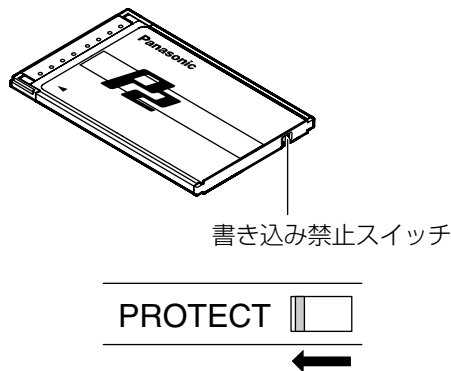
ノート:

- サムネール画面表示中にP2カードを抜くと自動的にサムネール画面から抜け出します。
- アクセス中や、挿入後の認識中 (P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅中) に、P2カードは取り出さないでください。万が一、アクセス中のP2カードを取り出した場合、液晶モニターには「TURN POWER OFF」表示、表示パネルには「AUTO OFF」の警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。
- アクセス中に取り出されたP2カードは、内部データは破壊されませんが、クリップが不正規の状態になることがあります。クリップをご確認のうえ、修復を行ってください。(26ページ参照)
- フォーマット中にP2カードが抜かれた場合は、フォーマットが保証されません、電源を立ち上げ後、再度フォーマット行ってください。

記録と再生 (つづき)

誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



ノート:

- 書き込み禁止スイッチは、記録中や再生中など、アクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで有効になりません。
- フロントパネル上部のREC INHスイッチを「ON」にすると、すべてのP2カードへの記録を禁止しますが、フォーマット、クリップ削除、ショットマークの「ON/OFF」などは可能です。P2カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にすると、記録、フォーマット、クリップ削除などすべての書き込み操作を禁止することができます。

P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	P2カードの状態
緑色に点灯	書き込み／読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	書き込み／読み出しとも可能で、現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	現在、書き込み／読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	P2カード認識中です。
緑色の点滅	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
	P2カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	P2カードが挿入されていません。

ノート:

P2カードの詳細の状態を確認することができます。28ページの「P2カードの状態表示」をご覧ください。

接続

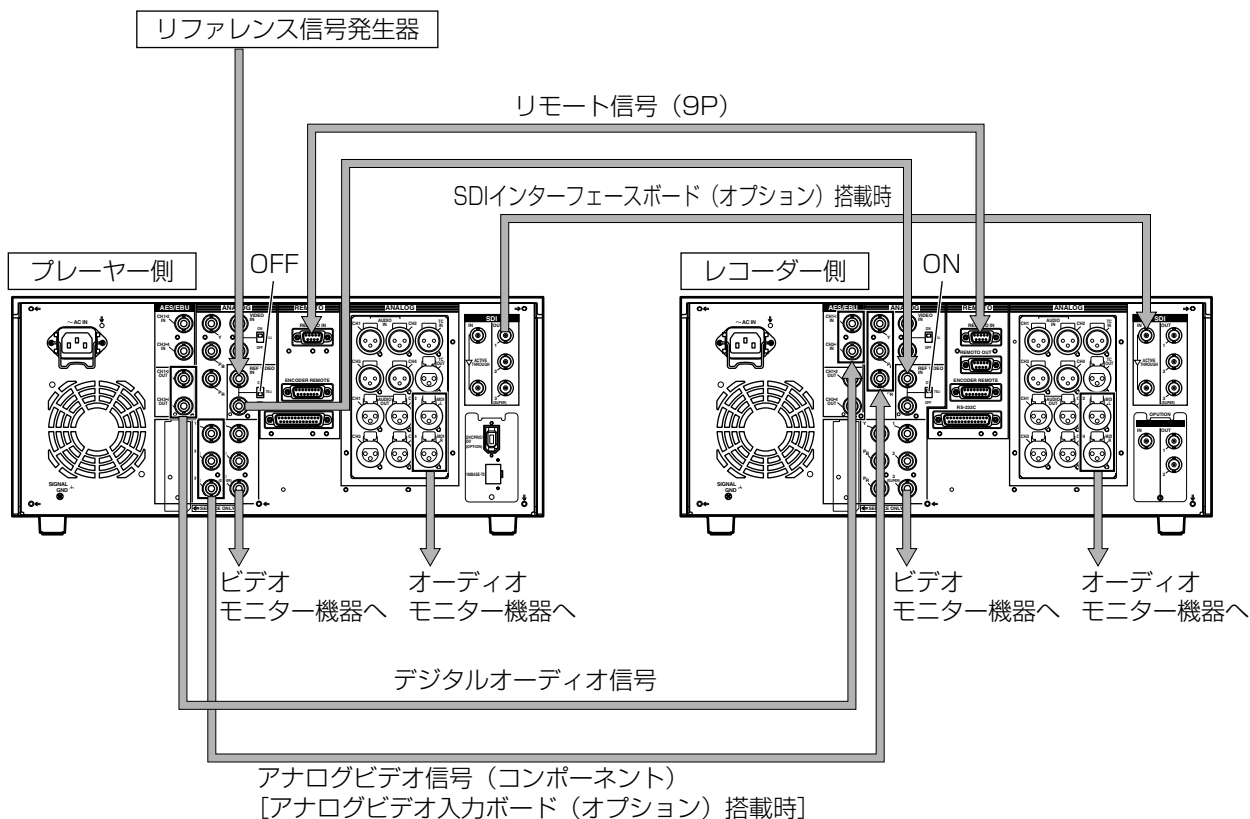
2台での接続例 本機（デッキ）対DVCPRO VTR

プレーヤー側：

フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。（本機：AJ-SPD850）

レコーダー側：

フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。（VTR：AJ-SD955など）



ノート：

- リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用されることをお勧めします。
- 本機には、カラーフレーミングの設定はありません。編集の設定は「2F」で行ってください。
- EE出力の映像（V BLANKデータ含む）は、入力映像が遅延して、そのまま出力されます。VITC、CC、V BLANK関連のメニュー設定は、記録映像、再生映像に反映されますが、EE出力には、反映されません。

パーソナルコンピューターとの接続

- フロントパネル上部のUSB2.0端子にUSBケーブルを接続します。
USBケーブルは、USB2.0対応のケーブル（シールドおよびフェラライトコア付き）をご用意ください。
- パーソナルコンピューターと本機を接続した状態で、付属のCD-ROMからP2ソフトウェアをパーソナルコンピューターにインストールして下さい。
詳しくは、インストールマニュアルを参照してください。

ノート：

- 本機は、USB2.0にのみ対応しています。USB1.1対応のパーソナルコンピューターには対応していません。
- USBを接続してご使用の際は、P2カードを抜かないでください。
- USB接続中のP2カードアクセスLEDは、アクセス中以外消灯します。
- パーソナルコンピューターとUSB2.0接続する場合は本機1台にしてください。

ジョグ／シャトル（サーチダイヤル）

サーチダイヤルは、映像の確認、検索のためのダイヤルです。

ダイヤルは、押すごとにSHTL/SLOWモードとJOGモードが交互に切り替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。

POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILLの位置に戻らないと動作しません。

ジョグモード（JOGモード）

- (1) **サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込む**
JOGランプが点灯していることを確認します。
- (2) **サーチダイヤルを回す**
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたスピード（-1～+1倍速）で再生します。
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。
- (3) **ジョグモードから他のモードに移行するときは、移行するモードのボタンを押す**

ノート：

工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたは、ジョグモードに移行するダイレクトサーチモードに設定されています。

セットアップメニューNo.100（SEARCH ENA）の設定を「KEY」にすることで、サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しないように設定することができます。

シャトルモード／スローモード（SHTLモード／SLOWモード）

- (1) **サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻す**
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
 - 電源を入れた直後は、サーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- (2) **SHTL/SLOWボタンを押して「SHTL」または、「SLOW」に切り替える**
- (3) **サーチダイヤルを回す**
JOG/SHTL/SLOWランプの「SHTL」が点灯しているとき、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0～±32倍速まで変化します。
セットアップメニューNo.101（SHTL MAX）で最大速度を±8、±16、±32、±60、±100倍速に切り替え可能です。
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
- (4) **シャトルモードから他のモードに移行するときは、STOPボタンまたは、他のボタンを押す**

ノート：

- オーディオモニター出力からは、-10～+10倍速の範囲で再生音を聞くことができます。
- サーチモードでの再生音にはノイズが含まれます。
- 複数のP2カードにまたがったクリップを±1倍速より速い速度で再生する場合、再生音が一瞬途切れることがあります。故障ではありません。
- 10倍速再生する場合、再生音が途切れることがあります。故障ではありません。

クリップのサムネール操作

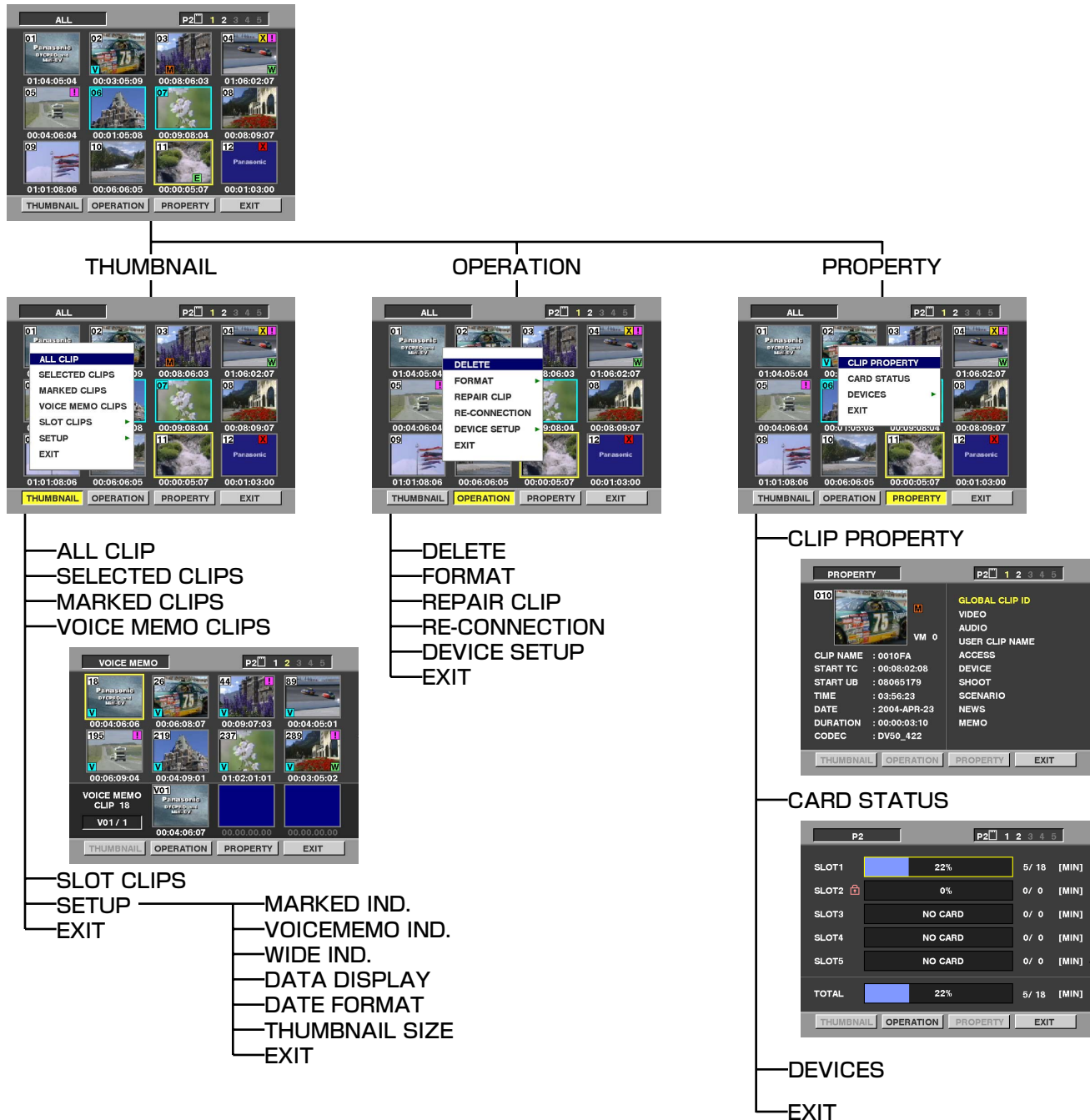
クリップとは、一回の記録によって生成される画像、音声、およびボイスメモ・メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。

本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、サーチダイヤル、FFボタン、REWボタン、SHIFTボタン、SETボタンを使って以下の操作を行うことができます。

- クリップの再生、削除、および修復
- クリップのサムネールにショットマークを付加、および消去
- ボイスメモの再生と削除
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示、P2カードの状態表示

サムネール操作の概要

サムネール画面は以下のような構成になっています。



ノート：

- サムネール画面表示中は、SUPERスイッチを「ON」にしてもスーパーは出力されません。
- サムネール画面は、セットアップメニューNo.902 (GUI OUTPUT) によりVIDEO OUT、SDI OUT (オプション) のすべての端子より出力されます。

クリップのサムネール操作 (つづき)

■ サムネール画面

THUMBNAILボタンを押すと、液晶画面にサムネール画面を表示します。もう一度THUMBNAILボタンを押すと、通常の表示に戻ります。
また、サムネール画面からMENU BARボタンを押すと、ポインターがメニューバーに移動し、サムネールのメニュー操作が可能になります。

■ サムネールの選択操作

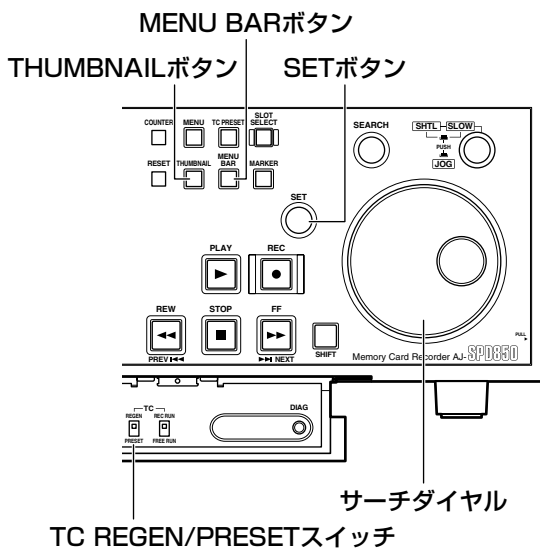
サムネール画面では、複数のサムネールを任意に選択できます。

(1) ポインター (黄色い枠) をサーチダイヤルで動かして、選択したいクリップに合わせ、SETボタンを押す

- サーチダイヤルの右回し (または、FFボタン) で右、左回し (または、REWボタン) で左に、また、SHIFT+右回しで下、SHIFT+左回しで上へポインターが動きます。
- SHIFTボタンを押しながらREWボタン/FFボタンを同時に押すと、先頭クリップ/最終クリップへ移動します。
- 選択されたクリップのサムネールには青緑色の枠が表示されます。再度SETボタンを押すと、選択は解除されます。
- クリップを選択した後、別のクリップにポインターを移動し、SHIFTボタンを押しながらSETボタンを同時に押すと、直前に選択したクリップから現在のポインター位置までのクリップを一括して選択できます。

(2) さらに選択したいクリップがある場合は、(1)の操作を繰り返す

SHIFTボタンを押しながらSTOPボタンを同時に押すと選択済みクリップを一括して解除できます。



ノート:

- TC REGEN/PRESETスイッチをPRESETにして、タイムコードやユーザーズビットの設定をしているとき、または、セットアップメニューを操作しているときは、サムネール操作はできません。
- P2カードに記録されているクリップの数によりサムネール表示時間が異なります。表示までの間、サムネール画面には「UPDATING」と表示されます。



サムネール画面

① 表示状態

画面に表示するサムネールの種類を表示します。

- ALL** :すべてのクリップを表示しています。
- SELECTED** :任意に選択したクリップを表示しています。
- MARKED** :ショットマークが付加されたクリップを表示しています。
- VOICE MEMO** :ボイスメモデータがあるクリップを表示しています。
- SLOT** :特定のP2カード内のクリップを表示しています。

詳細は24ページの「サムネール表示の切り替え」をご覧ください。

② スロット番号

ポインターが合わされているクリップが、どのP2カードに記録されているかを表示します。クリップが記録されたP2カードのスロット番号が、黄色く表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されている場合は、そのクリップが記録されたP2カードのスロット番号のすべてが表示されます。また、P2カードが挿入されているスロット番号は白く表示されます。

③ クリップ番号

P2カード上のすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、記録日時が早い順に割り振られます。記録フォーマットが異なるクリップなど、再生できないクリップは赤色で表示されます。

④ サムネール

クリップの記録開始直後の画像を、サムネールとして表示します。

⑤ 時間表示

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード/クリップの記録開始時点のユーザーズビット/記録時刻/記録日のいずれかを表示します。詳細は27ページの「サムネールの表示設定」をご覧ください。
工場出荷時はクリップの記録開始時点のタイムコードを表示します。

クリップのサムネール操作 (つづき)

⑥ メニューバー

クリップの操作、サムネール表示の切り替え／設定などを行うメニューが配置されています。

メニューバーの操作をするには、サムネール画面で、メニューバーボタンを押してください。サーチダイヤル、FFボタン、REWボタン、SETボタンでメニューを選択します。

THUMBNAIL : サムネール表示の切り替えや、表示方法の設定を行います。

OPERATION : クリップの削除や、P2カードのフォーマットを行います。

PROPERTY : クリップのプロパティや、P2カードの状態を表示します。

EXIT : ポインターがサムネールに戻ります。

EXITの代わりに、SHIFTボタンを押しながらSTOPボタンを同時に押ししてもポインターがサムネールに戻ります。

⑦ 不完全クリップインジケータ

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードがP2カードスロットに挿入されていない場合、表示されます。

⑧ ボイスメモインジケータ

ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。詳細は25ページの「ボイスメモ」をご覧ください。

⑨ ショットマークインジケータ

サムネールにショットマークが付加されたクリップに表示されます。ショットマークについての詳細は24ページの「ショットマーク」をご覧ください。

⑩ ワイドインジケータ

16 : 9の画角で記録されたクリップに表示されます。

⑪ 不良クリップインジケータ

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。

黄色い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。詳細は26ページの「クリップの修復」をご覧ください。

赤い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できない場合は、P2カードをフォーマットしてください。

フォーマットなどが異なるクリップの場合、の代わりに ? が表示されます。

⑫ エディットコピークリップインジケータ

エディットコピーしたクリップに表示されます。

■ クリップの再生

(1) サムネールボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) ポインターをサーチダイヤルで動かして、再生したいクリップに合わせる

FFボタン／REWボタンでも右／左にポインターを移動できます。

SHIFTボタンを押しながらREWボタン／FFボタンを同時に押し、先頭クリップ／最終クリップへ移動します。

(3) PLAYボタンを押す

ポインターの合わされたクリップが、液晶モニター上で再生されます。

カーソルの合わされたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが記録時刻順に再生され、最後のクリップの再生が終わった時点でサムネール画面に戻ります。

選択したクリップのみをサムネール画面に表示し、再生することが可能です。(また、サムネール画面に表示されるクリップを特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることもできます。) 詳細は24ページの「サムネール表示の切り替え」をご覧ください。

ノート:

- クリップを再生する際は、クリップを選択する(サムネールに青緑色の枠が表示された状態にする)必要はありません。
- クリップの再生中に、REWボタンを押すと巻戻し再生、FFボタンを押すと早送り再生を行います。
- クリップの再生中にSTOPボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。
- 再生停止中、ポインターは再生開始時の位置に関係なく、再生していたクリップのサムネールに合わされます。
- 異なったフォーマット(DVCPRO50、DVCPRO、DV)のクリップ間の再生で映像・音声は乱れますが故障ではありません。

THUMBNAILボタンを押して、サムネール画面を閉じた場合、再生開始位置は最も記録時刻の古いクリップ(クリップ番号1)に戻ります。

クリップのサムネール操作 (つづき)

■ サムネール表示の切り替え

サムネール画面に表示されるクリップを、特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることができます。

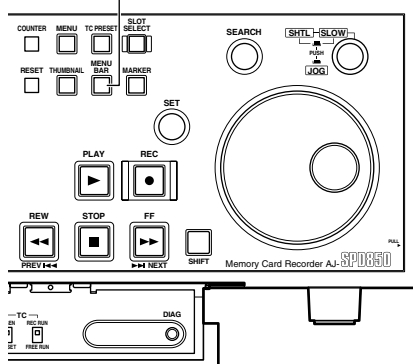
(1) THUMBNAILボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) MENU BARボタンを押す

ポインターがメニューバーに移動します。

MENU BARボタン



(3) ポインターをTHUMBNAILに合わせ、SETボタンで選択する

サブメニューが表示されます。それぞれの項目を選択して、サムネール表示を切り替えることができます。



ALL CLIP: すべてのクリップを表示します。

SELECTED CLIPS:

任意に選択したクリップを表示します。

MARKED CLIPS:

ショットマークが付加されたクリップを表示します。

VOICE MEMO CLIPS:

ボイスメモデータがあるクリップを表示します。

SLOT CLIPS:

特定のスロットに挿入されたP2カードに記録されたクリップを表示します。

この項目を選択すると、さらにサブメニューとしてSLOT1からSLOT5が表示されますので、表示したいスロットを選択します。

SETUP:

この項目については、27ページの「サムネールの表示設定」をご覧ください。

EXIT: サブメニューを閉じます。

■ ショットマーク

本機は、他のクリップと区別するために、クリップのサムネールにショットマークを付加することができます。

ノート:

ショットマークは記録中にも付加することができます。

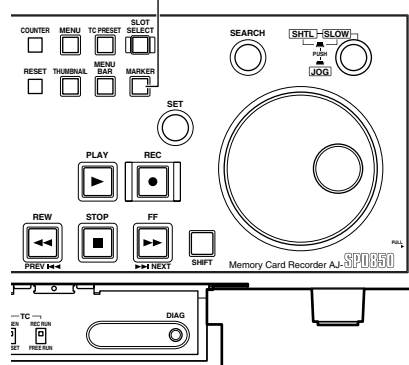
(1) THUMBNAILボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) ポインターをサーチダイヤル、FFボタン、REWボタンで動かして、ショットマークを付加したいクリップにあわせる

(3) MARKERボタンを押す

MARKERボタン



ポインターが合わされたクリップのサムネールに、ショットマークが付加されます。

ショットマークを削除するには、もう一度ポインターを合わせてMARKERボタンを押します。

ノート:

- 複数のP2カードにまたがるクリップに対してショットマークを付加削除する場合、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。
- エディットコピーしたクリップに対するショットマークの付加や削除には時間がかかります。

クリップのサムネール操作 (つづき)

■ ボイスメモ

ボイスメモとは、記録時の音声とは別に、独立してクリップに付加できる音声データです。カメラレコーダーで付加したボイスメモを再生することができます。

ノート:

本機では、ボイスメモを付加することはできません。

ボイスメモの再生

(1) THUMBNAILボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) MENU BARボタンを押す

ポインターがメニューバーに移動します。

(3) メニューバーから [THUMBNAIL] → [VOICE MEMO CLIPS] を選択する

液晶モニター上段には、ボイスメモが付加されたクリップのサムネールが表示されます。液晶モニター下段には、ポインターで選択されているクリップのボイスメモに関する情報が表示されます。



ボイスメモが関連付けられた静止画像を表示

クリップに付加されたボイスメモの総数を表示

(4) ポインターを、再生したいボイスメモのあるクリップに合わせ、SETボタンを押す ポインターが液晶モニター下段に移ります。



ポインターが移動します。

(5) サーチダイヤルで、ポインターを再生したいボイスメモが関連付けられた静止画像に合わせ、SETボタンを押す

ボイスメモが再生されます。

ボイスメモの再生中は、STOP以外の操作はしないでください。

ボイスメモの再生を途中で停止するときは、STOPボタンを押します。

ノート:

ボイスメモの再生音声は、HEADPHONES端子とモニター出力端子に出力されます。AUDIO OUT端子からも出力されます。

ボイスメモの削除

(1) 「ボイスメモの再生」の手順(1)～(4)を行い、クリップ内のボイスメモを選択する

(2) 削除したいボイスメモにポインターを合わせ、MENU BARボタンを押す

ポインターがメニューバーに移動します。

(3) メニューバーから [OPERATION] → [DELETE] を選択する

YES/NOの確認画面が表示されます。

(4) サーチダイヤルとSETボタンでYESを選択する ボイスメモが消去されます。

■ クリップの削除

(1) THUMBNAILボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) ポインターをサーチダイヤル、FFボタン、REWボタンで動かして、削除したいクリップに合わせる

(3) SETボタンを押して、クリップを選択する

(4) MENU BARボタンを押し、メニューバーから [OPERATION] → [DELETE] を選択する 下の画面が表示されます。このとき、削除されるクリップ数が表示されます。



(5) サーチダイヤルとSETボタンでYESを選択する

クリップが削除されます。このとき選択された(青緑色の枠で囲まれた)クリップはすべて削除されます。クリップの削除中は [NOW DELETING...] と進捗状況が表示されます。

(4) の操作の代わりに、DELETE [SHIFT+INSERT] ボタンを押してもクリップが削除できます。

クリップのサムネール操作 (つづき)

■ クリップの修復

記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップを修復します。

ノート:

修復が可能なのは、黄色い不良クリップインジケータがついたクリップのみです。赤い不良インジケータがついたクリップは削除してください。削除できない場合はP2カードをフォーマットしてください。

(1) THUMBNAILボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) ポインターをサーチダイヤルで動かして、修復したいクリップ (不具合のあるクリップには不良クリップマークが表示されています) に合わせる

(3) SETボタンを押して、クリップを選択する

(4) MENU BARボタンを押し、メニューバーから [OPERATION] → [REPAIR CLIP] を選択する

YES/NOの確認画面が表示されます。

(5) サーチダイヤルとSETボタンでYESを選択する

■ 不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップ (連結したクリップ) がカードごとに別々にコピーされるなどで、それぞれが不完全クリップになることがあります。このとき連結機能を使って、1つのクリップ (元の連結したクリップ) にすることができます。

(1) THUMBNAILボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) サーチダイヤルとSETボタンで、連結する不完全クリップを選択する

通常、不完全クリップマークのサムネールは、並んで表示されています。

(3) MENU BARボタンを押し、メニューバーから [OPERATION] → [RE-CONNECTION] を選択する

YES/NOの確認画面が表示されます。

(4) サーチダイヤルとSETボタンでYESを選択する

ノート:

一部のクリップだけ連結しても、元の連結したクリップを構成するすべてのクリップがそろわない場合は、不完全クリップマークがついたままになります。

■ P2カードのフォーマット

(1) THUMBNAILボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

(2) MENU BARボタンを押す

ポインターがメニューバーに移動します。

(3) メニューバーから [OPERATION] → [FORMAT] を選択する

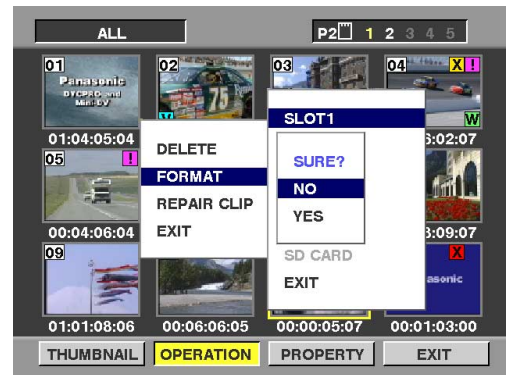
下記のような画面が表示されます。



(4) フォーマットしたいP2カードが挿入されたスロット番号を選び、選択する

下の画面が表示されます。

フォーマットしない場合は「NO」を選択してください。



(5) サーチダイヤルとSETボタンでYESを選択する

選択したP2カードがフォーマットされます。

SDメモリーカードのフォーマットは、SDメモリーカードを挿入しP2カードと同じ手順で行います。

<SDメモリーカード使用上の注意>

本機で使用するSDメモリーカードはSD規格に準拠したものをお使いください。またフォーマットは、必ず本機で行ってください。ただし、パーソナルコンピュータやその他の機器でSD規格に準拠したフォーマットを行った場合は、使用できます。

本機では、以下の容量 (8 MB ~ 1 GB まで) のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB
128 MB	256 MB	512 MB	1 GB

クリップのサムネール操作 (つづき)

■ サムネールの表示設定

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズすることができます。

- (1) THUMBNAILボタンを押す
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- (2) MENU BARボタンを押す
ポインターがメニューバーに移動します。
- (3) メニューバーから [THUMBNAIL] → [SETUP] を選択する
下記のような画面が表示されます。



MARKER IND. :

ショットマークインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

VOICE MEMO IND. :

ボイスメモインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

WIDE IND. :

ワイドインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

DATA DISPLAY :

クリップの時間表示の部分を、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 記録時刻 (TIME) / 記録日 (DATE) / 日時 (DATE TIME) のいずれかから選択できます。工場出荷時はタイムコードに設定されています。

DATE FORMAT :

記録日時の表示順を、年月日 (YMD) / 月日年 (MDY) / 日月年 (DMY) のいずれかから選択できます。工場出荷時は年月日に設定されています。この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、およびDATA DISPLAYでDATEを選択したときに表示される記録日時に反映します。

THUMBNAIL SIZE :

液晶モニターの一画面に表示されるサムネールの大きさを、大きい (LARGE) / 標準 (NORMAL) のいずれかから選択できます。工場出荷時はNORMALに設定されています。

EXIT : 一つ前のメニューに戻ります。

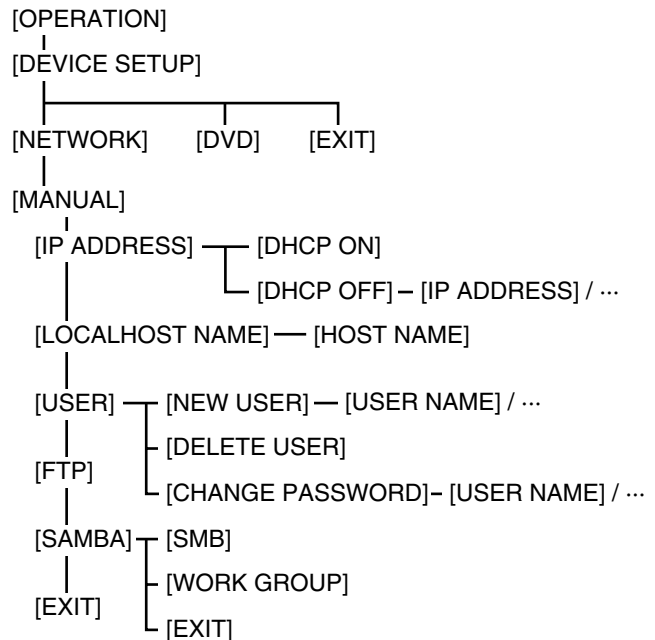
■ DVDの設定

DVDドライブを使用するかどうかの設定を行います。DVDドライブユニットを使用しない場合は、初期設定 [DISABLE] の状態で使用してください。使用する場合はDVDドライブユニットの取扱説明書を参照してください。

■ ネットワークの設定

ネットワークの各種設定を行います。

- (1) THUMBNAILボタンを押す
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- (2) MENU BARボタンを押し、メニューバーから [OPERATION] → [DEVICE SETUP] → [NETWORK] → [MANUAL] を選択し、[IP ADDRESS] → [DHCP ON] / [DHCP OFF] を選択します。
[DHCP OFF] 選択時は、IP ADDRESS、SUBNETMASK、DEFAULT GATEWAYを設定します。
- (3) 次に [LOCALHOST NAME]、[USER] を設定します。
- (4) [FTP] 使用の有無、[SAMBA] を設定します。
サーチダイヤルとSETボタンを使って設定します。デバイス セットアップの構成は以下のようになっています。



ノート :

ネットワークを経由してP2カードへのデータの書き込みはできません。

■ プロパティ表示

クリップのプロパティ、P2カードのステータス、各種デバイスのプロパティを表示します。



クリップのサムネール操作 (つづき)

■ クリップのプロパティ表示

メニューバーから [PROPERTY] → [CLIP PROPERTY] を選択する (または、SHIFT ボタンを押しながらかGOTO ボタンを同時に押す) と、下記のような画面が表示されます。



① クリップ番号

② サムネール

③ クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータや、付加されたボイスメモの数を表示します。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、 マークが表示されます。

④ スロット番号

⑤ クリップ情報

クリップに関するさまざまな情報が表示されます。
START TC : 記録開始時のタイムコードの値を表示します。
START UB : 記録開始時のユーザーズビットの値を表示します。
TIME : 記録開始時の時刻を表示します。
DATE : 記録した日付を表示します。
DURATION : クリップの長さを表示します。
CODEC : クリップの記録フォーマットを表示します。

⑥ クリップメタデータ

クリップに関する、より詳しいデータを表示します。ポインターをサーチダイヤルで動かし、SET ボタンを押して詳しい内容を確認できます。

GLOBAL CLIP ID :

グローバルクリップIDが表示されます。

VIDEO :

[FRAME RATE]、[PULL DOWN]、[ASPECT RATIO] ビデオ信号方式などが表示されます。

AUDIO :

[SAMPLING RATE]、[BITS PER SAMPLE] オーディオの各チャンネル方式などが表示されます。

USER CLIP NAME :

初期値は、グローバルクリップIDと同じIDとなっています。

ACCESS :

[CREATOR]、[CREATION DATE]、[LAST UPDATE PERSON] 最終更新日などが表示されます。

DEVICE :

[MANUFACTURER]、[SERIAL NO.]、[MODEL NAME] 記録した機器のシリアル番号などが表示されます。

SHOOT :

[SHOOTER]、[START DATE]、[END DATE]、[LOCATION] : ALTITUDE、LONGITUDE、LATITUDE、SOURCE、PLACE NAME 記録開始、終了した日付などが表示されます。

SCENARIO/ NEWS/ MEMO :

[PROGRAM NAME]、[SCENE NO.]、[TAKE NO.] / [REPORTER]、[PURPOSE]、[OBJECT] / [PERSON]、[TEXT]

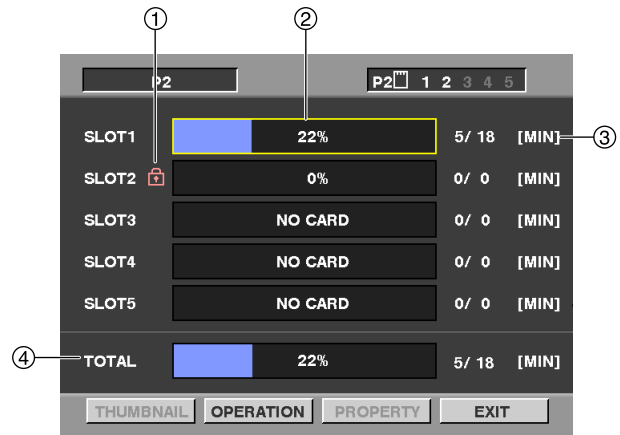
番組名、シーンNo.、レポート、取材対象などを表示します。

下線の項目は、本機で記録した際に自動的に付加されます。それぞれの項目はパーソナルコンピューターなどから入力することができます。本機では、ASCIIの印刷可能な文字のみ表示することができます。

[TEXT]は、1つのクリップに対して複数入力することができますが、本機では、先頭のTEXTのみを表示します。

■ P2カードの状態表示

メニューバーから [PROPERTY] → [CARD STATUS] を選択すると下記のような画面が表示されます。



① 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、 マークを表示します。

② P2カード状態

P2カードの記録残量を、メーターとパーセントで表示します。またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR : フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED : 本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD : P2カードが挿入されていません。

③ P2カード残量／総容量

P2カードの記録残量／総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記録残量の合計と総容量が一致しないことがあります。

④ スロット合計

5つのスロットを総合計した数値を表示します。ただし、ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

■ デバイスのプロパティ表示

メニューバーから [PROPERTY] → [DEVICES] → [SD CARD]、[LAN] を選択する。

SD CARD : SDメモリーカードの内容を確認します。

LAN : ネットワークの設定内容を確認します。

プレイリスト機能

プレイリスト機能とは、フロントパネルのIN/OUT ENTRYボタン操作などにより、本機単体で5枚のP2カードに記録された映像・音声の再生したい部分だけを選択し任意の順番に再生することができる機能です。

プレイリスト操作

■ 通常再生とプレイリスト再生の違い

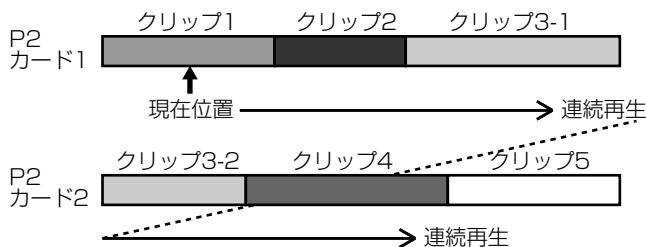
通常再生の場合

P2カード1にクリップ1～3、P2カード2にクリップ3～5が入っている場合の例を下記に示します。

ノート:

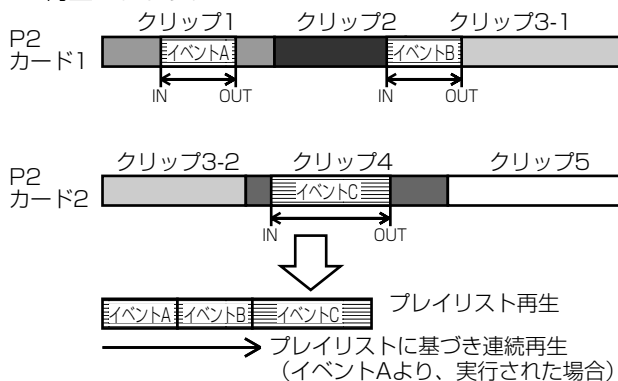
P2カードにまたがって記録された場合は、下記のようにクリップ3-1、3-2となります。プレイリスト再生を行わない場合は、現在位置からの連続再生となります。

SHIFTボタンを押しながらREW (FF) ボタンを押すと前(後)のクリップの頭出しを行います。またがったクリップの場合、クリップ3-2の先頭の頭出しも行います。



プレイリスト再生の場合

P2カード上の再生したいところでIN/OUT点を設定し、プレイリストを作成します。その後、プレイリスト再生を行うと、そのプレイリストに基づいて必要な部分のみ再生されます。

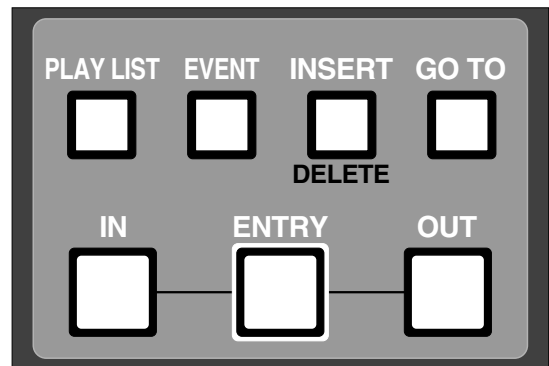


ノート:

本機で登録できるイベント数は、最大100イベントです。

■ 各操作スイッチとサブメニューの選択

プレイリスト操作ボタン



- **PLAYLISTボタン (自照式)**
プレイリストを作成するときや作成したプレイリストに従い再生するとき使用します。ストップモード中にボタンを押すとプレイリストを表示します。プレイリストの作成・再生中は、ボタンが点灯します。
- **EVENTボタン (自照式)**
PLAYLISTボタン点灯状態のとき、このボタンを押すと、プレイリストのイベント (IN/OUT) 設定モードとなります。このとき画面は映像出力となり、IN/OUT点TCとイベント番号をスーパー表示します。
- **INSERTボタン**
プレイリストの一覧表示中、新規にイベントを追加したい場合に使用します。プレイリスト表示の (PLAYLISTボタン点灯) 挿入したいイベントにポインターを移動し、このスイッチを押すと新たにイベントを追加することができます。
- **DELETE [SHIFT+INSERT] ボタン**
プレイリストの一覧表示中、イベントを削除したい場合に使用します。プレイリスト表示の (PLAYLISTボタン点灯) 削除したいイベントにポインターを移動し、SETボタンにより表示が反転しているイベントに対してこのボタンを押すと、そのイベントを削除することができます。
- **GO TOボタン**
プレイリストに登録されている各イベントのIN点、OUT点を探したい場合に使用します。プレイリスト表示中 (PLAYLISTボタン点灯)、イベントを選択し、INボタン (OUTボタン) を押しながらこのボタンを押すと、IN点 (OUT点) を移動し、画面は静止画になります。また、SHIFTボタンと同時に押すと、選択されたイベントの移動ができます。
- **ENTRYボタン**
プレイリストのイベントを作成するとき使用します。プレイリスト作成モード (PLAYLISTボタンとEVENTボタンが点灯) 時にこのボタンとIN (OUT) ボタンを同時に押すと、イベントのIN点 (OUT点) が設定できます。
- **IN (OUT) ボタン**
プレイリストのイベントを作成するとき使用します。プレイリスト作成モード (PLAYLISTボタンとEVENTボタンが点灯) 時にこのボタンとENTRYボタンを同時に押すと、イベントのIN点 (OUT点) が設定できます。また、RESETボタンと同時に押すと、選択されたイベントのIN点 (OUT点) の削除ができます。

プレイリスト機能(つづき)

■ プレイリスト操作の概要

プレイリスト画面、イベント画面にて、プレイリストを作成できます。PLAY LISTボタンを押してプレイリスト画面に切り替え、EVENTボタンを押してイベント画面に切り替えます。
 イベント画面では、映像を見ながら IN/OUT点を登録、修正できます。
 プレイリスト画面では、イベントの挿入・削除、および、プレイリスト再生を開始できます。

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	SLOT
01	---	---	---	-
02	---	---	---	-
03	---	---	---	-
04	---	---	---	-
05	---	---	---	-
06	---	---	---	-
07	---	---	---	-
08	---	---	---	-
09	---	---	---	-
10	---	---	---	-
TOTAL			00:00:00:00	

〈イベント未登録プレイリスト画面〉

EVENTボタン



〈イベント画面〉

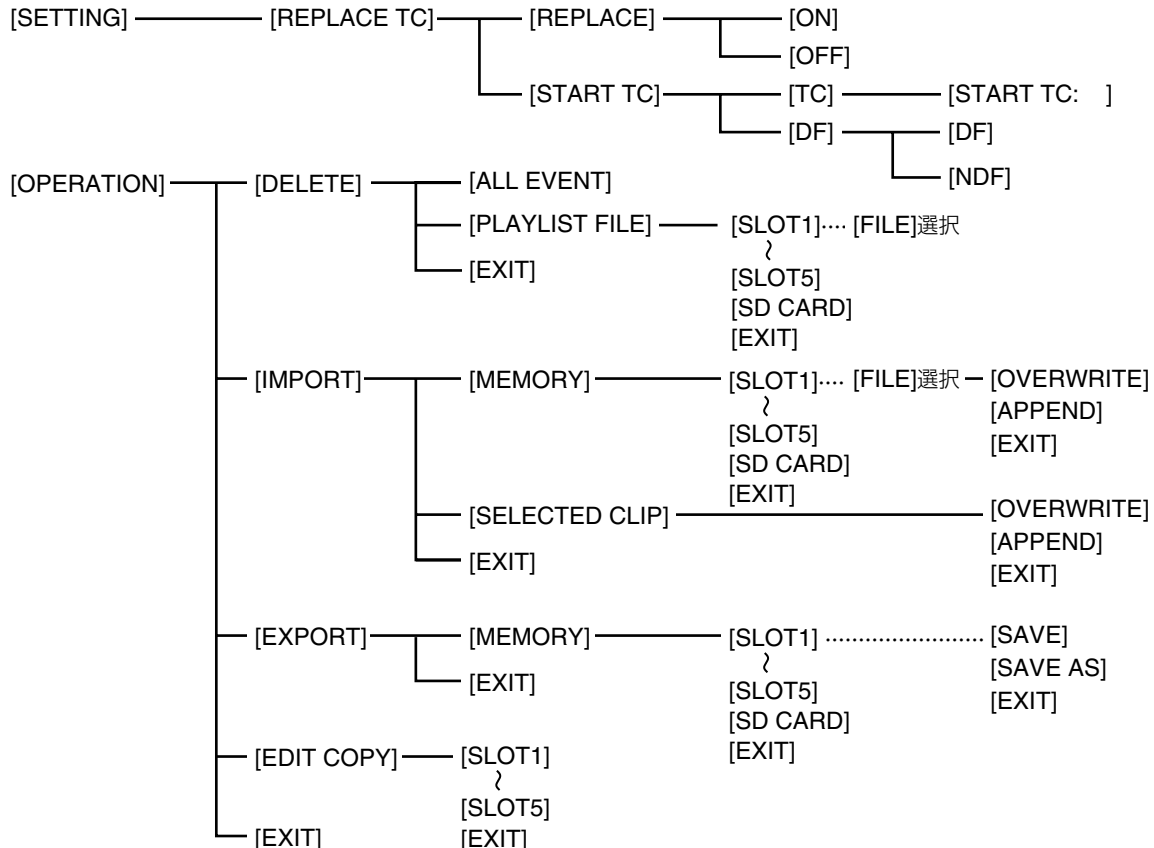
映像を見ながら IN/OUT点を登録、修正します。
 SUPERスイッチは「ON」にしてご使用ください。

EVENTボタン

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	SLOT
01	00:00:00:00	00:00:00:29	00:00:01:00	1
02	00:00:30:00	00:00:36:29	00:00:07:00	1
03	00:01:00:00	00:01:59:29	00:01:00:00	1
04	00:02:30:00	00:04:29:29	00:02:00:00	1
05	00:03:00:00	00:04:59:29	00:02:00:00	1
06	00:10:00:00	00:10:29:29	00:00:30:00	2
07	00:12:00:00	00:12:30:03	00:00:30:04	2
08	---	---	---	-
09	---	---	---	-
10	---	---	---	-
TOTAL			00:06:08:04	

〈イベント登録済みプレイリスト画面〉

メニューバーの [SETTING]、[OPERATION] の構成は以下のようになっています。



ノート:

- プレイリスト画面表示中は、SUPERスイッチを「ON」にしてもスーパーは出力されません。
- プレイリスト画面は、VIDEO OUT、SDT OUT (オプション) のすべての端子より出力されます。

プレイリスト機能(つづき)

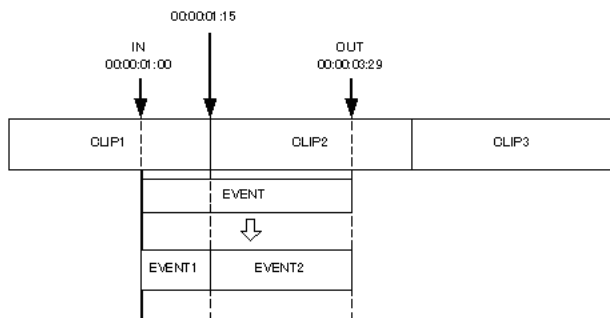
■ プレイリストの作成

イベントを登録する

- (1) ストップモード中にPLAYLISTボタンを押してプレイリスト画面に切り替える
- (2) イベント登録をしたいイベント番号へ移動する
SHIFTボタンを押しながらサーチダイヤルを回すと速く移動します。
SHIFTボタンを押しながらREWボタン/FFボタンを同時に押すと、先頭イベント/最終イベントへ移動します。
- (3) EVENTボタンを押してイベント作成画面へ切り替える
- (4) PLAY/JOG/SLOW/SHTL/FF/REW/PREV/NEXT等のイベントを開始したい位置でIN+ENTRYボタンを押す
- (5) 同様にPLAY/JOG/SLOW/SHTL/FF/REW/PREV/NEXT等のイベントを終了したい位置でOUT+ENTRYボタンを押す

- ポインター位置の次のイベントが未登録の場合は、自動インクリメント機能でイベント番号が1つインクリメントされます。継続する場合は引き続き登録を続けます。
- 登録イベントが複数クリップにまたがっている場合は、イベントは別登録となります。

複数クリップの対応例



- 複数のP2カードにまたがって記録されているクリップを登録する場合も、上記の様にP2カードにまたがっている部分でイベントは別登録となります。
- 本機で登録できるイベント数は、最大100イベントですが、一度の登録で複数のイベント登録が発生し、その際にイベント数が100を超える場合は、プレイリストには反映されませんのでご注意ください。

(6) 登録の確認や登録を終了する場合はEVENTボタンにより、プレイリスト画面へ戻る

- PLAYボタンを押すと、現在のイベントの先頭から再生します。未登録イベントでストップモードになります。

ノート:

- 各イベントの「DURATION」は、10フレーム以上になるように IN/OUT点を設定してください。正しく再生できないことがあります。
- 異なったフォーマット (DVCPRO50、DVCPRO、DV) のイベント間の再生で映像・音声は乱れますが故障ではありません。

プレイリスト作成 (イベント登録) の流れ



PLAYLISTボタン

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	SLOT
01	00:00:00:00	00:00:00:29	00:00:01:00	1
02	00:00:30:00	00:00:36:29	00:00:07:00	1
03	00:01:00:00	00:01:59:29	00:01:00:00	1
04	00:02:30:00	00:04:29:29	00:02:00:00	1
05	00:03:00:00	00:04:59:29	00:02:00:00	1
06	00:10:00:00	00:10:29:29	00:00:30:00	2
07	00:12:00:00	00:12:30:03	00:00:30:04	2
08	---	---	---	---
09	---	---	---	---
10	---	---	---	---
TOTAL	00:06:08:04			

EVENTボタン



IN+ENTRYボタン
OUT+ENTRYボタン



EVENTボタン

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	SLOT
01	00:00:00:00	00:00:00:29	00:00:01:00	1
02	00:00:30:00	00:00:36:29	00:00:07:00	1
03	00:01:00:00	00:01:59:29	00:01:00:00	1
04	00:02:30:00	00:04:29:29	00:02:00:00	1
05	00:03:00:00	00:04:59:29	00:02:00:00	1
06	00:10:00:00	00:10:29:29	00:00:30:00	2
07	00:12:00:00	00:12:30:03	00:00:30:04	2
08	00:00:30:00	00:00:30:29	00:00:01:00	1
09	---	---	---	---
10	---	---	---	---
TOTAL	00:06:09:04			

プレイリスト機能(つづき)

■ イベントの修正

プレイリスト画面にて修正したいイベント番号へ移動し、EVENTボタンを押してイベント画面へ切り替えます。

映像を再生し、IN (OUT) + ENTRYボタンを押して、IN/OUT点を修正します。

ノート:

- 修正したIN点が登録済みのOUT点よりも後にあるときは、OUT点はリセットされます。修正したOUT点が登録済みのIN点よりも前にあるときは、IN点にそのクリップの先頭TCが登録されます。
- ポインター位置の次のイベントが未登録の場合は、次のイベントに移ります。
- 各イベントの「DURATION」は、10フレーム以上になるようにIN/OUT点を設定してください。正しく再生できないことがあります。

■ イベントの選択と解除

プレイリスト画面にて選択したいイベント部分にポインターを移動し、SETボタンを押します。選択した部分の表示が反転します。

再度SETボタンを押すと、解除されます。

また、選択を行った後に別のイベントにポインターを移動し、SHIFTボタンを押しながらSETボタンを同時に押すと、選択位置からポインター位置までのイベントを一括選択できます。

SHIFTボタンを押しながらSTOPボタンを同時に押すと、選択されたイベントを一括解除できます。

■ イベントの新規追加

プレイリストの一覧表示中に新規にイベントを追加したい場合、プレイリスト表示の (PLAYLISTボタン点灯) 挿入したいイベントにポインターを移動し、INSERTボタンを押すと新たにイベントを追加することができます。

■ イベントの削除

プレイリストの一覧表示中にイベントを削除したい場合、プレイリスト表示の (PLAYLISTボタン点灯) 削除したいイベントにポインターを移動し、SETボタンにより表示が反転しているイベントに対してDELETE [SHIFT+INSERT] ボタンを押すと、そのイベントを削除することができます。

■ プレイリストのリセット

プレイリストのすべてのイベントをリセットします。

[OPERATION]→[DELETE]→[ALL EVENT]で[YES]を選択します。リセットしない場合は[NO]を選択します。

SHIFTボタンを押しながらRESETボタンを同時に押してもプレイリストのすべてのイベントをリセットできます。

■ プレイリストファイルの削除

プレイリストファイルを削除します。

[OPERATION]→[DELETE]→[PLAYLIST FILE]で削除したいファイルの場所とファイル名を選択し、DELETE [SHIFT+INSERT] ボタンを押します。

■ イベントの移動

プレイリストのイベントの順番を変更するときに使用します。移動したいイベントを選択後、サーチダイヤルを操作して移動先までポインターを移動します。

SHIFTボタンを押しながらGOTOボタンを同時に押しで確定します。複数のイベントを同時に移動することもできます。

プレイリストイベントの移動

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	SLOT
▶ 01	00:00:00:00	00:00:00:29	00:00:01:00	1
02	00:00:30:00	00:00:36:29	00:00:07:00	1
03	00:01:00:00	00:01:59:29	00:01:00:00	1
04	00:02:30:00	00:04:29:29	00:02:00:00	1
05	00:03:00:00	00:04:59:29	00:02:00:00	1
06	00:10:00:00	00:10:29:29	00:00:30:00	2
07	00:12:00:00	00:12:30:03	00:00:30:04	2
08	---	---	---	-
09	---	---	---	-
10	---	---	---	-
TOTAL			00:06:08:04	

SETボタン

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	SLOT
01	00:00:00:00	00:00:00:29	00:00:01:00	1
▶ 02	00:00:30:00	00:00:36:29	00:00:07:00	1
03	00:01:00:00	00:01:59:29	00:01:00:00	1
04	00:02:30:00	00:04:29:29	00:02:00:00	1
05	00:03:00:00	00:04:59:29	00:02:00:00	1
06	00:10:00:00	00:10:29:29	00:00:30:00	2
07	00:12:00:00	00:12:30:03	00:00:30:04	2
08	---	---	---	-
09	---	---	---	-
10	---	---	---	-
TOTAL			00:06:08:04	

サーチダイヤル

NO.	TC IN	TC OUT	DURATION	SLOT
01	00:00:00:00	00:00:00:29	00:00:01:00	1
02	00:01:00:00	00:01:59:29	00:01:00:00	1
03	00:02:30:00	00:04:29:29	00:02:00:00	1
04	00:03:00:00	00:04:59:29	00:02:00:00	1
05	00:10:00:00	00:10:29:29	00:00:30:00	2
06	00:12:00:00	00:12:30:03	00:00:30:04	2
▶ 07	00:00:30:00	00:00:36:29	00:00:07:00	1
08	---	---	---	-
09	---	---	---	-
10	---	---	---	-
TOTAL			00:06:08:04	

プレイリスト機能(つづき)

■ プレイリストの取り込みと保存

外部から取り込む

(1) **PLAYLIST**ボタンを押しプレイリスト画面に切り替える

(2) **OPERATION**サブメニューを開き**IMPORT**を選択する

(3) **取り込み先を選択する**

[SLOT1~SLOT5] :

スロット1~5のいずれかのP2カードに保存しているプレイリストデータを選択します。

[SD CARD] :

SDメモリーカードに保存しているプレイリストデータを選択します。

[SELECTED CLIPS] :

サムネイル画面で選択したクリップをプレイリストデータにします。

(4) **取り込むプレイリストデータを選択する**

ファイル名を選択します。

(5) **取り込み方法を選択する**

[OVERWRITE] :

取り込み前に設定してあるプレイリストに上書きします。

[APPEND] :

取り込み前に設定してあるプレイリストの下に追加します。

[EXIT] :

取り込みを中止します。

(6) **SET**ボタンを押す

プレイリストデータの取り込みを開始します。

ノート:

イベント数が100を超える場合は、プレイリストデータの取り込みができませんのでご注意ください。

外部へ保存 **[EXPORT]**

• P2カードへ保存 **[SLOT1~SLOT5]**

選択したスロットのP2カード内の所定のエリアにプレイリストデータを保存します。

[OPERATION]→**[EXPORT]**→**[MEMORY]** を選択し保存するスロットを設定します。

• SDメモリーカードへ書き出す **[SD CARD]**

SDメモリーカードの所定のフォルダーへ所定の書式で保存します。

• 保存方法

[SAVE] :

前回取り込んだファイル名で上書きします。ファイルを読み込んでいない場合は選択できません。

[SAVE AS] :

ファイル名が自動的につけられて保存されます。

• 本機でフォーマットしたSDメモリーカードをご使用ください。(26ページ参照)

■ プレイリストの再生

プレイリスト画面を表示している状態で、**PLAY**ボタンを押すと、ポインター位置のイベントよりプレイリスト再生を開始します。ポインターをイベント1に移動し、**PLAY**ボタンを押すと、リストの先頭からプレイリスト再生(連続して登録されているイベントの再生)を開始します。プレイリスト再生停止は、**STOP**ボタンを押します。

再生時にTCを所定の値から連続値を出力する再生TC設定も可能です。ただし、この場合IEEE1394などのTCはオリジナル値になります。初期値の設定や出力TCの選択はメニューバーの「**SETTING**」で行います。

再生時にTCを所定の値から再生する場合

• TCの差し替えモードを設定します。

[SETTING]→**[REPLACE TC]**→**[REPLACE]**を選択し、**[ON]**を設定します。

• 初期値のTCを設定します。

[SETTING]→**[REPLACE TC]**→**[START TC]**→**[TC]**→**[START TC:]**にて、初期値のTCを入力します。

• TCの**[DF]**/**[NDF]**を設定します。

[START TC]→**[DF]**を選択し、**[DF]**/**[NDF]**を設定します。

ノート:

• ポインター位置のイベントが未登録の場合は、プレイリスト再生できませんのでご注意ください。

• プレイリストの再生を行う場合は、プレイリストを構成するすべてのP2カードを挿入してください、プレイリスト再生が正しくできません。

• TCの差し替えモードでの再生中に、再生以外の操作をおこなうと、TC値はオリジナル値に戻ります。

• プレイリストに登録したイベントは、P2カードのシリアル番号などで識別されています。したがって、別のP2カードにコピーしたクリップは、プレイリスト対象クリップとして認識されません。

■ プレイリストのエディットコピー機能

プレイリストのエディットコピーとは、イベント1から連続して登録されているイベントを1つのクリップにすることです。

(1) **OPERATION**サブメニューを開き、**EDIT COPY**を選択する

(2) **エディットコピー先を選択する**

[SLOT1~SLOT5] :

スロット1~5のいずれかのP2カードにエディットコピーしたクリップを保存します。

(3) **サーチダイヤルとSETボタンでYESを選択する**

エディットコピーを開始します。

• エディットコピー先のP2カードの空容量がエディットコピーするクリップよりも少ない場合は「**WARNING : LACK OF REC CAPACITY**」が表示され、エディットコピーは開始されません。

• エディットコピー中に**SET**ボタン、または**STOP**ボタンを押すとエディットコピーを中止します。

ノート:

• エディットコピーしたクリップのフォーマットは、エディットコピー前の各イベントのフォーマットと同じです。

• ショットマークの付加したクリップをイベントに含む場合、エディットコピーしたクリップにもショットマークが付加されます。

• エディットコピー中は進行状況の目安が表示されます。

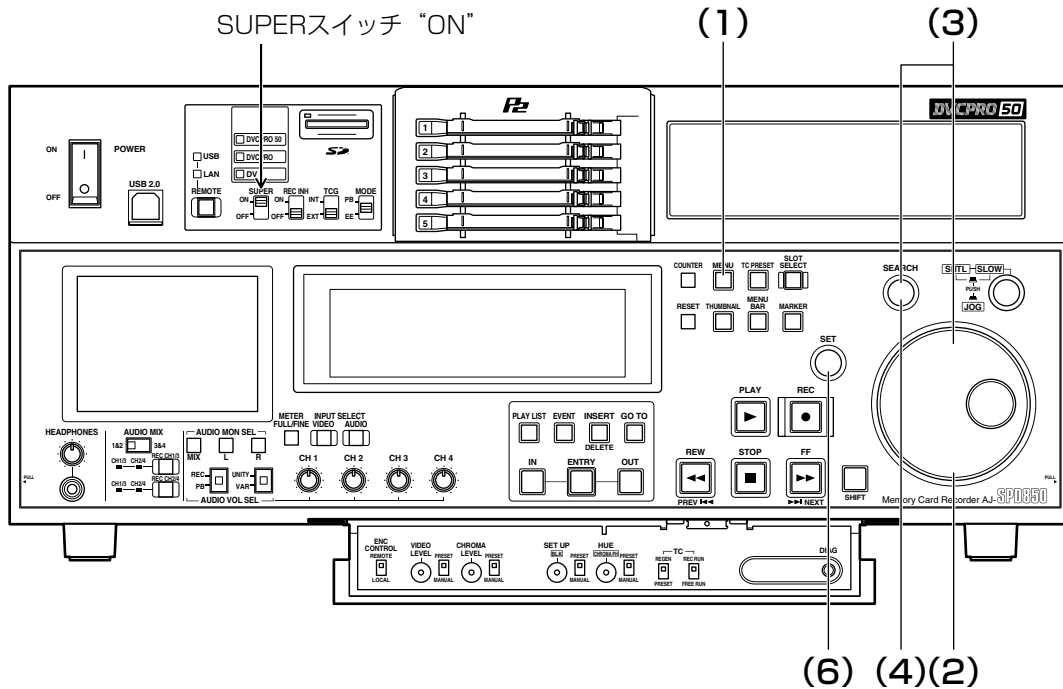
• エディットコピーしたクリップの頭出しを行うと、エディットコピー前の各イベントごとに頭出しを行います。

• エディットコピー時にはショットマーク以外の情報はコピーされません。

セットアップ (初期設定)

本機的主要な設定は、メニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビをリアパネルのVIDEO OUT 3端子やSDI OUT 3端子(オプション)と接続している場合は、モニターテレビにセットアップメニューが表示されます。(フロント上部のSUPERスイッチが“ON”の場合)



■ 設定の変更

(1) MENUボタンを押す

モニターテレビにセットアップメニューの画面が表示され、カウンター表示部にセットアップメニューの項目No.が表示されます。

FFボタンを押す(約1.5秒間)毎に、項目No.と項目名が交互に切り替わって表示されます。

(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)

(2) サーチダイヤルを回して、設定する項目を選ぶ

メニュー画面のカーソル(*)が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。

- 右に回すと項目No.が001→002→003→004→のように増加し、左に回すと減少します。
- PLAYボタンを押しながらFFボタンまたは、REWボタンを押すと、次項目または、前の項目に切り替わります。
- サーチダイヤルは、できるだけJOGモードで使用してください。

(3) 変更する位置で、SEARCHボタンを押しながら、サーチダイヤルを回す

メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。ダイヤルを右に回すと設定No.が増加し、左に回すと減少します。

(4) 設定が終了後、SEARCHボタンを離す

- サーチダイヤルがSHTLモードのときは、中央位置にしないと項目が移動します。

(5) 他に変更する項目がある場合、(2)～(4)を繰り返す

(6) SETボタンを押す

変更した内容は記憶されます。

設定した内容を変更前に戻す場合は、MENUボタンを押します。

- セットアップの内容を工場出荷(初期設定)に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

```
SETUP - MENU INIT SET
YES<PLAY> / NO<STOP>
```

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

ノート:

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻すときは、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押してメニュー画面を閉じて、変更内容が記録されます。

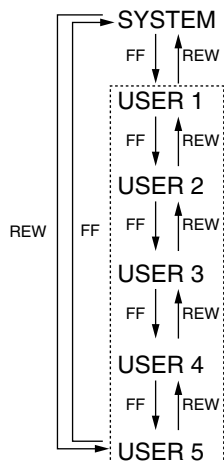
セットアップメニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なるメニュー設定の中から、いずれか1つを選択して使用することができます。

■ ファイルの変更

(1) MENUボタンを押す

(2) DIAG (または、SHIFT) ボタンを押しながらFFボタンを押して次のユーザーファイルに切り替えるか、DIAG (または、SHIFT) ボタンを押しながらREWボタンを押して前のユーザーファイルに戻す



ユーザーファイル
各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- V BLANK
- LCD
- MENU

(3) ステップ (2) の操作で使用するユーザーファイルを決め、SETボタンを押す
ユーザーファイルを変更して記憶します。

ノート:

SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り替えを行い、SYSTEMファイルに切り替えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

■ ロックモードの設定および解除

システムファイルおよびユーザーファイル (USER2～USER5) の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルではセットアップメニューNo.40 (MENU LOCK)、ユーザーファイルではセットアップメニューNo.A03 (MENU LOCK) で設定できます。

(1) MENUボタンを押す

(2) DIAG (または、SHIFT) ボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択する

(3) サーチダイヤルを回す

メニュー画面中のカーソル (*) をシステムファイルではNo.40 (MENU LOCK) へ移動し、ユーザーファイルではNo.A03 (MENU LOCK) へ移動します。

(4) SEARCHボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、ロックモードの設定および解除を選択する
ロック設定:

設定値を0001 (ON) に設定します。

ロック解除:

設定値を0000 (OFF) に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「LOCKED」を点滅表示します。また、カウンタ表示部が点滅表示から点灯表示になります。

SETUP-MENU	LOCKED
<USER2>	NO.000-0005
*000 P-ROLL TIME	5s
001 LOCAL ENA	STOP
002 CTL DISP	±12h
003 REMAIN SEL	2L
008 DISPLAY SEL	T&STA
009 CHARA H-POS	4
010 CHARA V-POS	18
011 CHARA TYPE	WHITE
012 SYS FORMAT	50M

(5) SETボタンを押す

設定内容が記憶されます。

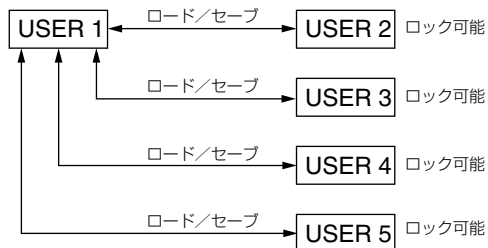
ノート:

- USER1はロックモードの設定ができません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作ができません。

セットアップメニュー (つづき)

■ ユーザーファイルのロード

USER2~USER5の内容をUSER1へ複写 (ロード) することができます。また、USER1の内容をUSER2~USER5へ複写 (セーブ) することができます。



- (1) MENUボタンを押す
- (2) DIAG (または、SHIFT) ボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択する
- (3) サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル (*) をNo.A00 (LOAD) へ移動する

```

SETUP-MENU  MENU
<USER1> NO .A00-0000
902 GUI OUTPUT OFF
*A00 LOAD USER2
A01 SAVE USER2
A02 P. ON LOAD OFF
END
    
```

- (4) SEARCHボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1へロードするユーザーファイルを選択する
- (5) SETボタンを押す
メニュー画面上およびカウンター表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```

SETUP-MENU  LOAD
USER2 → USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
    
```

カウンター表示部



■の部分、(4) の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- (6) PLAYボタンを押す
(4) の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- (7) サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル (*) をNo.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE) 以外へ移動する
- (8) SETボタンを押す
USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENU ボタンを押します。

■ ユーザーファイルのセーブ

- (1) MENUボタンを押す
- (2) DIAG (または、SHIFT) ボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択する
- (3) サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル (*) をNo.A01 (SAVE) へ移動する

```

SETUP-MENU  MENU
<USER1> NO .A00-0000
902 GUI OUTPUT OFF
A00 LOAD USER2
*A01 SAVE USER2
A02 P. ON LOAD OFF
END
    
```

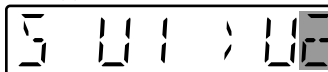
- (4) SEARCHボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択する
このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED” 表示となりセーブ操作ができません。
- (5) SETボタンを押す
メニュー画面上およびカウンター表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```

SETUP-MENU  SAVE
USER1 → USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
    
```

カウンター表示部



■の部分、(4) の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- (6) PLAYボタンを押す
USER1の内容が(4) の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- (7) サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル (*) をNo.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE) 以外へ移動する
- (8) SET ボタンを押す
USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

■ 電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02 (P. ON LOAD) でロードするユーザーファイルを予め選択しておく、電源を投入したとき、自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。

セットアップメニュー (つづき)

■ SYSTEMメニュー

No./項目	設定内容
11 SYS SC COAR.	システム位相の粗調整：90° 単位 0000 0 ノート： 0001 90 工場出荷時設定操作を 0002 180 行っても、設定値は変 0003 270 化しません。
12 SYS SC FINE	システム位相の微調整： 可変範囲±45° 以上 -：進む、+：遅れる 0000 -128 ノート： ： 工場出荷時設定操作を 0128 0 行っても、設定値は変 ： 化しません。 0255 127
13 SYS H	システム位相調整：74 nsステップ -：進む、+：遅れる 0000 -128 ノート： ： 工場出荷時設定操作を 0128 0 行っても、設定値は変 ： 化しません。 0216 127
14 SCH COARSE	SCH位相調整：90° 単位 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) -：進む、+：遅れる 0000 0 0001 90 0002 180 0003 270
15 SCH FINE	SCH位相調整： トータル可変範囲±45° 以上 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) -：進む、+：遅れる 0000 -32 ： 0032 0 ： 0064 32

下線部の項目は、工場出荷モードです。

ビデオ出力信号の各調整について

ビデオ出力信号の各調整については、フロントパネル下部のENC CONTROLとNo.19 (SYS SC/H) 設定により行います。各調整の制御マトリクスを下表に示します。

設定		調整項目	
ENC CONTROL	SYSTEMメニュー 19：SYS SC/H	SYSTEMメニュー 11：SYS SC COAR. 12：SYS SC FINE 13：SYS H	フロントパネル下部 VIDEO LEVEL CHROMA LEVEL SET UP/BLACK HUE/CHROMA PHASE
LOCAL	LOCAL REMOTE	本機	本機
REMOTE	LOCAL REMOTE	本機 外部エンコーダーリモート	外部エンコーダーリモート

No./項目	設定内容
16 AV PHASE	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。：20.8μsステップ -：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 +：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。 0000 -100 ： 0100 0 ： 0200 100
18 SYS H OFFSET	システム位相調整 0000 -3 : -13.4μsec 0001 -2 : -8.96μsec 0002 -1 : -4.52μsec 0003 0 : 0 sec 0004 1 : +4.52μsec 0005 2 : +8.96μsec 0006 3 : +13.4μsec ノート： 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
19 SYS SC/H	システム位相調整を本機で行うか、外部のエンコーダーリモートから行うかを設定します。 0000 REMOTE : 外部のエンコーダーリモートコントロールからシステム位相調整を行います。 0001 LOCAL : 本機でシステム位相調整を行います。 ノート： フロント SW ENC CONTROLがLOCALに選択されている場合は、本設定は関係しません。

セットアップメニュー (つづき)

■ SYSTEMメニュー

No./項目	設定内容
30 BRIGHT	フロントパネル上の液晶モニターの明るさを調整します。 0000 -7 : : 0007 0 : : 0014 7 ノート: 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
31 CONTRAST	フロントパネル上の液晶モニターのコントラストを調整します。 0000 -7 : : 0007 0 : : 0014 7 ノート: 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
40 MENU LOCK	システムファイルのロックモードの設定/解除を選択します。 0000 OFF : ロック解除 (変更可能) 0001 ON : ロック設定 (変更禁止)

■ USERメニュー<BASIC>

No./項目	設定内容
000 P-ROLL TIME	プリロール時間を設定します。 0秒~15秒の間で1秒単位で設定できます。 0000 0s : : 0005 5s : : 0015 15s
001 LOCAL ENA	REMOTEボタンが点灯しているとき、フロントパネルで操作可能なボタンを選択します。 0001 DIS : すべて不可 0001 STOP : STOPボタンのみ可能 0002 ENA : すべて可能
002 CTL DISP	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0000 ±12h : 12時間表示 0001 24h : 24時間表示
003 REMAIN SEL	VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子 (オプション) のスーパー表示に、残量時間および総量を表示するかどうかを選択します。 0000 OFF : 表示しません。 0001 2L : 2行目に残量時間を表示します。 0002 1L : 1行目に残量時間を表示します。 0003 R/TTL : 1行目に残量時間を表示し、2行目に総量を表示します。 ノート: • 2Lを選択したとき、セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) がTIMEに設定されている場合、表示しません。 • R/TTLを選択したとき、セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) がTIMEに設定されている場合、総量は表示しません。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<BASIC>

No./項目	設定内容
008 DISPLAY SEL	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子 (オプション) のタイムコード等のスーパー表示の表示内容を選択します。</p> <p>0000 TIME : データだけを表示します。 (データとは、COUNTERボタンで選択されているCTL/TC/UBの値を示します。)</p> <p>0001 T&STA : データと動作状態を表示します。</p> <p>0002 T&S&M : データと動作状態およびモードを表示します。</p> <p>0003 T&RT : データと記録時間を表示します。</p> <p>0004 T&YMD : データと記録日時 (年月日) を表示します。</p> <p>0005 T&MDY : データと記録日時 (月日年) を表示します。</p> <p>0006 T&DMY : データと記録日時 (日月年) を表示します。</p> <p>0007 T&UB : データとユーザズビットを表示します。 ただし、COUNTERボタンでUBを選択しているときは、ユーザズビットの次にタイムコードが表示されます。</p> <p>0008 T&CTL : データとCTLデータを表示します。 ただし、COUNTERボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。</p> <p>0009 T&T : データとタイムコードを表示します。</p> <p>0010 VITC : P2カードに記録されたタイムコードとユーザズビットを表示します。</p> <p>ノート: <ul style="list-style-type: none"> モード表示は、 DVCPRO (50Mbps) フォーマット時は、DVCPRO_50表示 DVCPRO (25Mbps) フォーマット時は、DVCPRO表示 DVフォーマット時は、DV表示 T&S&M設定時に、ワーニングまたはエラーが発生した場合、エラーメッセージを表示します。 記録時間や記録日時は、DVフォーマットのときに表示します。DVCPR050 (50Mbps) やDVCPR0 (25Mbps) では、動作状態を表示します。 </p>

No./項目	設定内容
009 CHARA H-POS	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子 (オプション) から出力される、タイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。</p> <p>0000 0 : : 0004 4 : : 0016 16 ノート: 画面から文字がはみ出す場合があります。</p>
010 CHARA V-POS	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子 (オプション) から出力される、タイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。</p> <p>[525iシステム] [625iシステム] 0000 0 0000 0 : : : : 0018 18 0023 23 : : : : 0022 22 0028 28 ノート: DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。</p>
011 CHARA TYPE	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子 (オプション) から出力される、スーパーおよびSETUP-MENU等の表示タイプを選択します。</p> <p>0000 WHITE : 白文字で、背景は黒 0001 W/OUT : 白文字で、黒のふちどり</p>

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<BASIC>

No./項目	設定内容
012 SYS FORMAT	本機の記録・再生フォーマットを設定します。 <u>0000 50M</u> : DVCPRO50 (50Mbps) を選択します。 <u>0001 25M</u> : DVCPRO (25Mbps) を選択します。 <u>0002 DV</u> : DV (25Mbps) を選択します。 ノート: EJECT時は、本メニューに従います。
017 CHARA SIZE	VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子 (オプション) から出力されるスーパーで表示される文字の大きさを選択します。 <u>0000 NORMAL</u> : 標準の大きさ <u>0001 LARGE</u> : 標準の大きさの4倍 ノート: LARGEを選択した場合、No.008 (DISPLAY SEL) の設定に関わらず、時間データのみが表示されます。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<BASIC>

No./項目	設定内容
069 CLOCK SET	内蔵の時計の時刻合わせを行います。 ノート： STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。
サブ画面	
00 YEAR	年を設定します。 0000 2000 : : 0004 2004 : : 0030 2030
01 MONTH	月を設定します。 0001 JAN : : 0012 DEC ノート： 2、4、6、9、11月の設定で、存在しない日を設定したときは、次の月の1日として設定されます。
02 DAY	日を設定します。 0001 1 : : 0031 31 ノート： 2、4、6、9、11月の設定で、存在しない日を設定したときは、次の月の1日として設定されます。
03 HOUR	時を設定します。 24時間制で設定してください。 0000 0 : : 0023 23
04 MINUTE	分を設定します。 0000 0 : : 0059 59
05 TIME ZONE	世界標準時からの差を設定します。 0000 00:00 0001 +00:30 0002 +01:00 : : 0050 -00:30 右表を参考に現地時刻に合わせて設定してください。

時差	地域	時差	地域
00:00	グリニッジ	+13:00	
-00:30		+10:30	ロード・ハウ・アイランド
-01:00	アゾレス諸島	+12:00	ニュージーランド
-01:30		+09:30	ダーウィン諸島
-02:00	中部大西洋	+11:00	ソロモン諸島
-02:30		+08:30	
-03:00	ブエノスアイレス	+10:00	グアム
-03:30	ニューファンドランド島	+07:30	
-04:00	ハリファックス	+09:00	東京
-04:30		+06:30	ラングーン
-05:00	ニューヨーク	+08:00	北京
-05:30		+05:30	ボンベイ
-06:00	シカゴ	+07:00	バンコク
-06:30		+04:30	カブール
-07:00	デンバー	+06:00	ダッカ
-07:30		+03:30	テヘラン
-08:00	ロスアンジェルズ	+05:00	イスラマバード
-08:30		+02:30	
-09:00	アラスカ	+04:00	アブダビ
-09:30	マルケサス諸島	+01:30	
-10:00	ハワイ	+03:00	モスクワ
-10:30		+00:30	
-11:00	ミッドウェイ諸島	+02:00	東ヨーロッパ
-11:30		+12:45	チャタム諸島
-12:00	クワジャリン	+01:00	中央ヨーロッパ
+11:30	ノーフォーク島		

ノート：

時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。
正確な時刻を必要とする場合は、電源ON時に、時刻確認、再設定を行ってください。

No./項目	設定内容
070 TV SYSTEM	テレビジョンシステムを設定します。 [525iシステム] [625iシステム] 0000 525 0000 525 0001 625 0001 625 0000 : 525インターレース/59.94Hzの方式を選択します。[525iシステム] 0001 : 625インターレース/50Hzの方式を選択します。[625iシステム] ノート： • 設定を変更した場合、再度電源を投入したときに有効になります。 • 出荷設定のテレビジョンシステムを変更すると、INPUT SELECTにてアナログビデオ信号は選択できません。 • 設定を変更した場合、プレイリストはリセットされます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<OPERATION>

No./項目	設定内容
100 SEARCH ENA	<p>ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。</p> <p>0000 DIAL : ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。</p> <p>0001 KEY : サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しません。</p>
101 SHTL MAX	<p>シャトル動作の最大速度を設定します。</p> <p>0000 ×8 : ×8倍速 0001 ×16 : ×16倍速 0002 ×32 : ×32倍速 0003 ×60 : ×60倍速 0004 ×100 : ×100倍速</p>
102 FF. REW MAX	<p>FF、REW動作の最大速度を設定します。</p> <p>0000 ×32 : ×32倍速 0001 ×60 : ×60倍速 0002 ×100 : ×100倍速</p>
104 REF ALARM	<p>REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF :表示しません。 0001 ON : STOPランプを点滅させることで警告表示します。</p> <p>ノート: リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用されることをお勧めします。</p>

No./項目	設定内容
105 AUTO EE SEL	<p>MODEスイッチがEEの時、EE状態になるデッキのモードを選択します。</p> <p>0000 S/F/R : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 ただし、EJECTは、PB/EE SW状態に関係無く常にEE状態になります。</p> <p>0001 STOP : STOPの時のみ、EE状態になります。 ただし、EJECTは、PB/EE SW状態に関係無く常にEE状態になります。</p> <p>0002 BLACK : STOPの時のみ、EE状態になります。 ただし、EJECTは、PB/EE SW状態により EE時 :EE状態になります。 PB時 :映像系は、BLACK状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。</p> <p>0003 BLACK1 : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 ただし、EJECTは、PB/EE SW状態により EE時 :EE状態になります。 PB時 :映像系は、BLACK状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。</p> <p>0004 GRAY : STOPの時のみ、EE状態になります。 ただし、EJECTは、PB/EE SW状態により EE時 :EE状態になります。 PB時 :映像系は、GRAY状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。</p> <p>0005 GRAY1 : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 ただし、EJECTは、PB/EE SW状態により EE時 :EE状態になります。 PB時 :映像系は、GRAY状態になります。 音声系は、ミュート状態になります。</p>

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<OPERATION>

No./項目	設定内容
106 EE MODE SEL	EEモード時の出力信号を選択します。 0000 <u>NORMAL</u> : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。 0001 <u>THRU</u> : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を出力します。 ノート: ビデオの入力信号選択において1394を選択した時、ビデオまたはオーディオにおいてINT SGを選択した時、内部動作は強制的に「NORMAL」になります。
107 PLAY DELAY	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。 0000 <u>0</u> : 0015 15
112 V IN SEL INH	INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えモードを選択します。 0000 <u>OFF</u> : INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、可能になります。 0001 <u>ON</u> : INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、禁止されます。 0002 <u>REC</u> : 本機が記録に移行した後は、INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、禁止されます。

No./項目	設定内容
113 A IN SEL INH	INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えモードを選択します。 0000 <u>OFF</u> : INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、可能になります。 0001 <u>ON</u> : INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、禁止されます。 0002 <u>REC</u> : 本機が記録に移行した後は、INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、禁止されます。 ノート: ONまたはRECを選択し、INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが禁止されている場合であっても、セットアップメニュー No.715 (CH1 IN SEL) No.716 (CH2 IN SEL) No.717 (CH3 IN SEL) No.718 (CH4 IN SEL) No.719 (D IN SEL12) No.720 (D IN SEL34) を設定することができます。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<INTERFACE>

No./項目	設定内容
201 9P SEL	REMOTEボタンが点灯しているとき、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF : 機能しません。 0001 ON : 機能します。
202 ID SEL	コントローラーに返信するID情報を設定します。 0000 OTHER 0001 DVCPRO 0002 ORIG ノート： <ul style="list-style-type: none"> 「OTHER」には、DVCPRO以外のVTRのID情報を設定しています。 「ORIG」は特定のコントローラーとの接続時のみ設定してください。
204 RS232C SEL	REMOTEボタンが点灯しているとき、RS-232C端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF : 機能しません。 0001 ON : 機能します。
205 BAUD RATE	RS-232Cの通信速度 (ボーレート) を設定します。 (単位: Bps) 0000 300 0001 600 0002 1200 0003 2400 0004 4800 0005 9600
206 DATA LENGTH	RS-232Cのデータ長を設定します。 (単位: BIT) 0000 7 0001 8
207 STOP BIT	RS-232Cのストップビット長を設定します。 (単位: BIT) 0000 1 0001 2

No./項目	設定内容
208 PARITY	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0000 NON : パリティビットを使用しない。 0001 ODD : パリティビットを奇数パリティで使用する。 0002 EVEN : パリティビットを偶数パリティで使用する。
209 RETURN ACK	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかしないかを設定します。 0000 OFF : ACKコードを返信しない。 0001 ON : ACKコードを返信する。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<EDIT>

No./項目	設定内容
303 STD/ NON-STD	<p>コンポジット入力信号に合わせてSTDまたはNON-STDを選択します。</p> <p>0000 AUTO : スタンダード/ノンスタンダード信号を自動検出して処理します。</p> <p>0001 STD : スタンダード信号処理を行います。(強制STD)</p> <p>0002 N-STD : ノンスタンダード信号処理を行います。(強制NON-STD)</p> <p>ノート:</p> <ul style="list-style-type: none"> レーザーディスク、サテライトからの信号などで映像、音声に不具合が発生する場合は、NON-STDにしてご使用ください。 NON-STD設定時、再生モードからEEモード移行の際にフロントパネルの液晶モニターの映像が大きく乱れますが、故障ではありません。
304 REF LOCK	<p>REFロックモードを選択します。</p> <p>0000 AUTO : 記録時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。</p> <p>0001 EXT : 常にREF信号に同期します。</p> <p>0002 AUTO1 : 記録時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。 EE出力はREF信号が無いとき、AUTO設定は内部基準に同期しますが、AUTO1設定はSTD入力信号に同期します。 STD信号を使うとき設定します。</p> <p>ノート: AUTO設定時、再生モードからEEモード移行の際にフロントパネルの液晶モニターの映像が大きく乱れますが、故障ではありません。</p>
315 AFTER CUE-UP	<p>キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。</p> <p>0000 STOP : STOPモードになります。</p> <p>0001 STILL : 静止画 (SHTL STILL) モードになります。</p>

No./項目	設定内容
320 VAR FWD MAX	<p>SLOW FWDの最大速度を設定します。</p> <p>0000 +4 : +4倍速 0001 +2 : +2倍速 0002 +1 : +1倍速</p> <p>ノート: 0 (+4) 以外の設定では編集コントロールからの調相ができません。</p>
321 VAR REV MAX	<p>SLOW REVの最大速度を設定します。</p> <p>0000 -4 : -4倍速 0001 -2 : -2倍速 0002 -1 : -1倍速</p>
323 JOG FWD MAX	<p>JOG FWDの最大速度を設定します。</p> <p>0000 +4 : +4倍速 0001 +2 : +2倍速 0002 +1 : +1倍速</p> <p>ノート:</p> <ul style="list-style-type: none"> フロントでのダイヤル操作時は最大+1倍速再生となります。 0 (+4) 以外の設定ではJOGコマンドにより調相を行う編集コントロールからの調相ができません。
324 JOG REV MAX	<p>JOG REVの最大速度を設定します。</p> <p>0000 -4 : -4倍速 0001 -2 : -2倍速 0002 -1 : -1倍速</p> <p>ノート: フロントでのダイヤル操作時は最大-1倍速再生となります。</p>

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<TIME CODE>

No./項目	設定内容												
500 VITC BLANK	<p>セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) とNo.502 (VITC POS-2) で選択された位置に、VITC信号を出力するかどうかを選択します。</p> <p>0000 BLANK : 出力しません 0001 THRU : 出力します。</p>												
501 VITC POS-1	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>0006 16L</td> <td>0004 11L</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>0010 20L</td> <td>0015 22L</td> </tr> </table> <p>ノート: セットアップメニューNo.502 (VITC POS-2) やNo.662 (UMID POS) と同じラインは選択できません。</p>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	⋮	⋮	0006 16L	0004 11L	⋮	⋮	0010 20L	0015 22L
[525iシステム]	[625iシステム]												
0000 10L	0000 7L												
⋮	⋮												
0006 16L	0004 11L												
⋮	⋮												
0010 20L	0015 22L												
502 VITC POS-2	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>0008 18L</td> <td>0006 13L</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>0010 20L</td> <td>0015 22L</td> </tr> </table> <p>ノート: セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) やNo.662 (UMID POS) と同じラインは選択できません。</p>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	⋮	⋮	0008 18L	0006 13L	⋮	⋮	0010 20L	0015 22L
[525iシステム]	[625iシステム]												
0000 10L	0000 7L												
⋮	⋮												
0008 18L	0006 13L												
⋮	⋮												
0010 20L	0015 22L												
503 TCG REGEN	<p>TCG (タイムコードジェネレーター) がリジェネモードのとき、リジェネする信号を選択します。</p> <p>0000 TC&UB : タイムコード、ユーザーズビット共にリジェネします。 0001 TC : タイムコードのみをリジェネします。 0002 UB : ユーザーズビットのみをリジェネします。</p>												
505 EXT TC SEL	<p>外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します。</p> <p>0000 LTC : TIME CODE IN端子のLTCを使用します。 0001 VITC : 入力ビデオ信号のVITCを使用します。</p> <p>ノート: 記録時は、映像とスーパーのTC値がずれて表示されますが、実際の記録は正常に行われます。</p>												

No./項目	設定内容
506 BINARY GP	<p>TCGで発生するタイムコードのユーザーズビットの使用状態を設定します。</p> <p>0000 000 : NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない) 0001 001 : ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 0002 010 : UNASSIGNED 1 (未定義) 0003 011 : UNASSIGNED 2 (未定義) 0004 100 : UNASSIGNED 3 (未定義) 0005 101 : PAGE/LINE 0006 110 : UNASSIGNED 4 (未定義) 0007 111 : UNASSIGNED 5 (未定義)</p>
507 PHASE CORR	<p>TIME CODE OUT端子から出力されるLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 位相補正コントロールは行いません。 0001 ON : 位相補正コントロールを行います。</p>
508 TCG CF FLAG	<p>TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : CFフラグをOFFします。 0001 ON : CFフラグをONします。</p>
509 DF MODE	<p>CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。</p> <p>0000 DF : ドロップフレームモード 0001 NDF : ノンドロップフレームモード</p> <p>ノート: •ドロップフレームモードはREMOTEボタンが消灯しているときや、セットアップメニューNo.001 (LOCAL ENA) がENAの時のみ有効です。 •625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。</p>

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<TIME CODE>

No./項目	設定内容
510 TC OUT REF	TCGスイッチが「EXT」のとき、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切り替えます。 <u>0000</u> <u>V OUT</u> : 出力映像に合わせます。 <u>0001</u> <u>TC_IN</u> : 外部タイムコード入力に合わせます。
511 VITC OUT	再生時における出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 <u>0000</u> <u>SBC</u> : サブコード領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 <u>0001</u> <u>VAUX</u> : VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。
514 VITC GEN	内部タイムコードジェネレータの値をVAUX領域へ記録するかどうかを選択します。 <u>0000</u> <u>OFF</u> : 内部タイムコードジェネレータ値をVAUX領域に記録しません。 タイムコードが記録されているビデオ信号を入力したときは入力信号のタイムコードをVAUX領域に記録します。 <u>0001</u> <u>ON</u> : 内部タイムコードジェネレータ値をVAUX領域に記録します。 ノート: 入力信号として1394が選択されている場合は、本メニューの設定に関係なく、入力圧縮信号に多重されたタイムコードがそのままカードに記録されます。

サブコード領域

P2カード上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコードが格納されます。

VAUX領域

P2カード上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

■ USERメニュー<VIDEO>

No./項目	設定内容
600 INT SG	内部信号を選択します。 <u>0001</u> <u>BB</u> : ブラックバーストを発生させます。 <u>0002</u> <u>CB100</u> : 100%カラーバーを発生させます。 <u>0003</u> <u>CB75</u> : 75%カラーバーを発生させます。
601 OUT VSYNC	EE/記録/編集の際に、映像出力の位相を入力に合わせるため、映像出力のVシンク位置をフロートさせるかどうかを選択します。 <u>0000</u> <u>N-VF</u> : フロートさせません。 <u>0001</u> <u>VF</u> : フロートさせます。
603 CC (F1) BLANK	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 <u>0000</u> <u>BLANK</u> : 強制ブランキングします。 <u>0001</u> <u>THRU</u> : ブランキングしません。 ノート: 625iシステムの場合は、このセットアップメニューが表示されません。
604 CC (F2) BLANK	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 <u>0000</u> <u>BLANK</u> : 強制ブランキングします。 <u>0001</u> <u>THRU</u> : ブランキングしません。 ノート: 625iシステムの場合は、このセットアップメニューが表示されません。
605 FREEZE SEL	静止画面のフリーズ状態を選択します。 <u>0000</u> <u>FIELD</u> : フィールドフリーズ <u>0001</u> <u>FRAME</u> : フレームフリーズ ノート: • FRAMEを選択した場合は、スロー時もフレームスローになります。 • RS-422Aからのフリーズコマンド時にもこの設定に従いますが、そのときの液晶モニターの画面はフリーズされません。
606 OUT C KILL	ビデオ出力信号のクロマのカラーキラー処理を選択します。 <u>0000</u> <u>B/W</u> : カラー信号を出力しません。 <u>0001</u> <u>COLOR</u> : カラー信号を出力します。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<VIDEO>

No./項目	設定内容
609 EDH	シリアル出力にEDHを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。 ノート: ONを選択していても、SUPERスイッチがONになっている場合は、SDI OUT 3端子 (オプション) にEDHが重畳されません。
610 P _B /P _R IN LV	コンポーネント入力信号のレベルを選択します。 0000 M II : M II レベル 0001 B-CAM : β-CAMレベル ノート: 625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。
611 YC SEP MODE	コンポジット入力信号のY/C分離処理を選択します。 0000 B/W : 白黒信号として処理します。 0001 AUTO : 自動検出として処理します。
614 P _B /P _R OUT LV	アナログコンポーネント出力信号のレベルを選択します。 0000 M II : M II レベル 0001 B-CAM : β-CAMレベル ノート: 625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。
618 INTERPOLATE	インターポーレーション動作を選択します。 スロー再生時は自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的にOFFすることができます。 0000 OFF : 強制的にOFFします。 0001 AUTO : スロー再生時、自動的にONします。

No./項目	設定内容
620 ESR MODE	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション (ESR) の動作モードを選択します。 0000 OFF : 強制的にOFFします。 0001 AUTO : デッキ動作に応じて自動的にON/OFFされます。
621 CCR MODE	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0000 OFF : そのまま出力します。 0001 ON : クロスカラーを軽減することができます。 ノート: 625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。
624 CC REC	入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを選択します。 0000 OFF : 記録しません。また、EE出力信号は、ブランキングされます。 0001 ON : 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されている場合にカードへ記録します。 ノート: • 625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。 • 入力信号として1394が選択されている場合は、本メニューの設定に関係なく、入力圧縮信号に多重されたクローズドキャプションデータがそのままカードに記録されます。
645 WIDE SELECT	WIDE情報を記録するかどうかを選択します。 0001 WIDE : 記録します。 0002 NORMAL : 記録しません。 ノート: 入力信号に1394を選択した場合は、入力情報がそのまま記録されます。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<VIDEO>

No./項目	設定内容
660 UMID REC	UMID情報を記録するかどうかを選択します。 0000 OFF : 記録しません。またEE出力信号はブランクングされます。 0001 ON : 記録します。 ノート: セットアップメニューNo.106 (EE MODE SEL) がTHRUに設定されている場合、EE出力信号のUMID情報はブランクングされます。
661 UMID GEN	セットアップメニューNo.660 (UMID REC) がON設定時、記録するUMID情報の生成方法を選択します。 0000 INT : 常に新規生成した本機のUMIDを記録します。 0001 EXT : 入力信号のUMIDを記録します。入力信号にUMIDが存在しないときは、新しく生成した本機のUMIDを記録します。
662 UMID POS	UMID情報を重畳するラインを設定します。 [525iシステム] [625iシステム] 0000 BLANK 0000 BLANK 0001 12L 0001 8L : : : 0006 17L 0010 17L : : : 0008 19L 0015 22L ノート: セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1)、No.502 (VITC POS-2) と同じラインは選択できません。

■ USERメニュー<AUDIO>

No./項目	設定内容
701 CH1 IN LV	オーディオ入力 (CH1) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
702 CH2 IN LV	オーディオ入力 (CH2) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
703 CH3 IN LV	オーディオ入力 (CH3) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
704 CH4 IN LV	オーディオ入力 (CH4) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
706 CH1 OUT LV	オーディオ出力 (CH1) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
707 CH2 OUT LV	オーディオ出力 (CH2) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
708 CH3 OUT LV	オーディオ出力 (CH3) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
709 CH4 OUT LV	オーディオ出力 (CH4) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<AUDIO>

No./項目	設定内容
711 MONIL OUT LV	オーディオモニター出力 (Lch) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
712 MONIR OUT LV	オーディオモニター出力 (Rch) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
713 MONI OUT	オーディオモニター出力の音量を、ヘッドホン用の音量調整つまみに連動させるか連動させないかを選択します。 0000 UNITY : 音量つまみの位置に関係なく、固定させたレベルで出力します。 0001 VAR : 音量つまみに連動します。
715 CH1 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH1入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル入力
716 CH2 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH2入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル入力
717 CH3 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH3入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル入力
718 CH4 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH4入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル入力
719 D IN SEL12	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH1およびCH2のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES入力 0001 SIF : SDI入力

No./項目	設定内容
720 D IN SEL34	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH3およびCH4のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES入力 0001 SIF : SDI入力
727 PB FADE	クリップ選択再生、プレイリスト再生時などのクリップ間、イベント間のオーディオ処理を選択します。 0000 AUTO : 記録時の状態に従います。 0001 CUT : 強制CUT 0002 FADE : 強制FADE
728 EMBEDDED AUD	シリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。
734 MONI SEL INH	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 OFF : 操作が可能になります。 0001 ON : 操作が禁止されます。 0002 ON1 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モード時のみ操作が可能になります。
754 AMIX SEL INH	REC CH1/CH3、REC CH2/CH4ボタンでの入力オーディオチャンネル切り替えモードを選択します。 0000 OFF : REC CHボタンでのオーディオ入力チャンネル切り替えが可能になります。 0001 ON : REC CHボタンでのオーディオ入力チャンネル切り替えが禁止されます。 0002 REC : 本機が記録に移行した後は、REC CHボタンでのオーディオ入力チャンネル切り替えが禁止されます。
755 25M REC CH	DVCPRO (25Mbps) またはDV (25Mbps) を記録する場合のAUDIOのチャンネル数を選択します。 0000 2CH : 2チャンネル記録します。 0001 4CH : 4チャンネル記録します。 ノート: DVCPRO50 (50Mbps) では常に4チャンネル記録します。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<V BLANK>

No./項目	設定内容																						
800	記録する追加ラインのモードを選択します。																						
ADD LINE 25	<p>0000 OFF : 追加ラインを記録しません。</p> <p>0001 YC422 : 422を1ライン記録します。</p> <p>0002 YC411 : 411を1ライン記録します。</p> <p>0003 Y1_B/W : YのみをDIRECTで1ライン記録します。</p> <p>0004 Y1_BPF : YのみをYC分離後1ライン記録します。</p> <p>0005 C1 : Cのみを1ライン記録します。</p> <p>0006 Y2_B/W : YのみをDIRECTで2ライン記録します。</p> <p>0007 Y2_BPF : YのみをYC分離後2ライン記録します。</p> <p>0008 C2 : Cのみを2ライン記録します。</p> <p>ノート: <ul style="list-style-type: none"> 0001 (YC422) ~0008 (C2) を選択してSTOPボタンを押すと、サブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻するには、再度STOPボタンを押します。 設定内容は、システムフォーマットが25Mbpsの場合に有効となります。 </p>																						
サブ画面																							
00	記録する追加ラインを選択します。																						
REC LINE1	<table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0002 12L</td> <td>0002 9L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0012 22L</td> <td>0015 22L</td> </tr> <tr> <td>0013 263L</td> <td>0016 320L</td> </tr> <tr> <td>0014 273L</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>0031 335L</td> </tr> <tr> <td>0025 284L</td> <td>0032 623L</td> </tr> <tr> <td>0026 525L</td> <td></td> </tr> </table>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	: :	: :	0002 12L	0002 9L	: :	: :	0012 22L	0015 22L	0013 263L	0016 320L	0014 273L	: :	: :	0031 335L	0025 284L	0032 623L	0026 525L	
[525iシステム]	[625iシステム]																						
0000 10L	0000 7L																						
: :	: :																						
0002 12L	0002 9L																						
: :	: :																						
0012 22L	0015 22L																						
0013 263L	0016 320L																						
0014 273L	: :																						
: :	0031 335L																						
0025 284L	0032 623L																						
0026 525L																							
01	記録する追加ラインを選択します。																						
REC LINE2	<table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0012 22L</td> <td>0015 22L</td> </tr> <tr> <td>0013 263L</td> <td>0016 320L</td> </tr> <tr> <td>0014 273L</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>0018 322L</td> </tr> <tr> <td>0016 275L</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>0031 335L</td> </tr> <tr> <td>0025 284L</td> <td>0032 623L</td> </tr> <tr> <td>0026 525L</td> <td></td> </tr> </table> <p>ノート: 追加ラインのモードが1~5に設定されている場合は、表示されません。</p>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	: :	: :	0012 22L	0015 22L	0013 263L	0016 320L	0014 273L	: :	: :	0018 322L	0016 275L	: :	: :	0031 335L	0025 284L	0032 623L	0026 525L	
[525iシステム]	[625iシステム]																						
0000 10L	0000 7L																						
: :	: :																						
0012 22L	0015 22L																						
0013 263L	0016 320L																						
0014 273L	: :																						
: :	0018 322L																						
0016 275L	: :																						
: :	0031 335L																						
0025 284L	0032 623L																						
0026 525L																							

No./項目	設定内容																						
801	記録する追加ラインのモードを選択します。																						
ADD LINE 50	<p>0000 OFF : 追加ラインを記録しません。</p> <p>0001 YC422 : 422を2ライン記録します。</p> <p>0002 Y4_B/W : YのみをDIRECTで4ライン記録します。</p> <p>0003 Y4_BPF : YのみをYC分離後4ライン記録します。</p> <p>0004 C4 : Cのみを4ライン記録します。</p> <p>ノート: <ul style="list-style-type: none"> 0001 (YC422) ~0004 (C4) を選択してSTOPボタンを押すと、サブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻するには、再度STOPボタンを押します。 設定内容は、システムフォーマットが50Mbpsの場合に有効となります。 </p>																						
サブ画面																							
00	記録する追加ラインを選択します。																						
REC LINE1	<table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0002 12L</td> <td>0002 9L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0012 22L</td> <td>0015 22L</td> </tr> <tr> <td>0013 263L</td> <td>0016 320L</td> </tr> <tr> <td>0014 273L</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>0031 335L</td> </tr> <tr> <td>0025 284L</td> <td>0032 623L</td> </tr> <tr> <td>0026 525L</td> <td></td> </tr> </table>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	: :	: :	0002 12L	0002 9L	: :	: :	0012 22L	0015 22L	0013 263L	0016 320L	0014 273L	: :	: :	0031 335L	0025 284L	0032 623L	0026 525L	
[525iシステム]	[625iシステム]																						
0000 10L	0000 7L																						
: :	: :																						
0002 12L	0002 9L																						
: :	: :																						
0012 22L	0015 22L																						
0013 263L	0016 320L																						
0014 273L	: :																						
: :	0031 335L																						
0025 284L	0032 623L																						
0026 525L																							
01	記録する追加ラインを選択します。																						
REC LINE2	<table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0012 22L</td> <td>0015 22L</td> </tr> <tr> <td>0013 263L</td> <td>0016 320L</td> </tr> <tr> <td>0014 273L</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>0018 322L</td> </tr> <tr> <td>0016 275L</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>0031 335L</td> </tr> <tr> <td>0025 284L</td> <td>0032 623L</td> </tr> <tr> <td>0026 525L</td> <td></td> </tr> </table>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	: :	: :	0012 22L	0015 22L	0013 263L	0016 320L	0014 273L	: :	: :	0018 322L	0016 275L	: :	: :	0031 335L	0025 284L	0032 623L	0026 525L	
[525iシステム]	[625iシステム]																						
0000 10L	0000 7L																						
: :	: :																						
0012 22L	0015 22L																						
0013 263L	0016 320L																						
0014 273L	: :																						
: :	0018 322L																						
0016 275L	: :																						
: :	0031 335L																						
0025 284L	0032 623L																						
0026 525L																							

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<V BLANK>

No./項目	設定内容																				
02	記録する追加ラインを選択します。																				
REC LINE3	<table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>：</td> <td>：</td> </tr> <tr> <td>0003 13L</td> <td>0003 10L</td> </tr> <tr> <td>：</td> <td>：</td> </tr> <tr> <td>0012 22L</td> <td>0015 22L</td> </tr> <tr> <td>0013 263L</td> <td>0016 320L</td> </tr> <tr> <td>：</td> <td>：</td> </tr> <tr> <td>0025 284L</td> <td>0032 623L</td> </tr> <tr> <td>0026 525L</td> <td></td> </tr> </table> <p>ノート： 追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。</p>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	：	：	0003 13L	0003 10L	：	：	0012 22L	0015 22L	0013 263L	0016 320L	：	：	0025 284L	0032 623L	0026 525L	
[525iシステム]	[625iシステム]																				
0000 10L	0000 7L																				
：	：																				
0003 13L	0003 10L																				
：	：																				
0012 22L	0015 22L																				
0013 263L	0016 320L																				
：	：																				
0025 284L	0032 623L																				
0026 525L																					
03	記録する追加ラインを選択します。																				
REC LINE4	<table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>：</td> <td>：</td> </tr> <tr> <td>0012 22L</td> <td>0015 22L</td> </tr> <tr> <td>0013 263L</td> <td>：</td> </tr> <tr> <td>：</td> <td><u>0019 323L</u></td> </tr> <tr> <td><u>0017 276L</u></td> <td>：</td> </tr> <tr> <td>：</td> <td>0031 335L</td> </tr> <tr> <td>0025 284L</td> <td>0032 623L</td> </tr> <tr> <td>0026 525L</td> <td></td> </tr> </table> <p>ノート： 追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。</p>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 10L	0000 7L	：	：	0012 22L	0015 22L	0013 263L	：	：	<u>0019 323L</u>	<u>0017 276L</u>	：	：	0031 335L	0025 284L	0032 623L	0026 525L	
[525iシステム]	[625iシステム]																				
0000 10L	0000 7L																				
：	：																				
0012 22L	0015 22L																				
0013 263L	：																				
：	<u>0019 323L</u>																				
<u>0017 276L</u>	：																				
：	0031 335L																				
0025 284L	0032 623L																				
0026 525L																					
802	記録するテレテキスト信号の種類を選択します。																				
TELETEXT SEL	<p>0000 MOJI : MOJI方式 0001 NABTS : NABTS方式</p> <p>ノート： <ul style="list-style-type: none"> 625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。 NABTS方式を選択した場合、テレテキスト信号を検出するときに、誤ってVITC信号をテレテキスト信号として検出することがあります。このときは、セットアップメニューNo.803 (TELETEXT DET) の設定でMANUを選択し、テレテキスト信号を記録するラインを設定してください。 </p>																				

No./項目	設定内容																																						
803	テレテキスト信号を記録するラインの検出方法を選択します。																																						
TELETEXT DET	<p>0000 OFF : テレテキスト信号を記録しません。</p> <p>0001 AUTO : テレテキスト信号を自動的に検出し記録します。</p> <p>0002 MANU : テレテキスト信号を記録するラインを選択し設定します。</p> <p>ノート： <ul style="list-style-type: none"> テレテキストの記録できるライン数は、セットアップメニューNo.800 (ADD LINE 25) またはNo.801 (ADD LINE 50) で確定した記録ライン数に従って異なります。["TELETEXTの設定可能ライン数"を参照] MANUを選択し、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻る場合は、再度STOPボタンを押します。 入力信号がノンスタンダード信号の場合や、セットアップメニューNo.303 (STD/NON-STD) の設定でN-STDに設定されている場合には、EEモード時のテレテキスト信号は、正しく再生されません。 </p>																																						
サブ画面																																							
[525iシステム] 00 REC LINE 1 :	テレテキスト信号の記録するラインを選択します。																																						
12 REC LINE 13	<table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td>0000 OFF</td> <td>0000 OFF</td> </tr> <tr> <td>0001 10&273</td> <td>0001 7&320</td> </tr> <tr> <td>0002 11&274</td> <td>0002 8&321</td> </tr> <tr> <td>[625iシステム]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0003 12&275</td> <td>0003 9&322</td> </tr> <tr> <td>0004 13&276</td> <td>0004 10&323</td> </tr> <tr> <td>0005 14&277</td> <td>0005 11&324</td> </tr> <tr> <td>0006 15&278</td> <td>0006 12&325</td> </tr> <tr> <td>0007 16&279</td> <td>0007 13&326</td> </tr> <tr> <td>0008 17&280</td> <td>0008 14&327</td> </tr> <tr> <td>0009 18&281</td> <td>0009 15&328</td> </tr> <tr> <td>0010 19&282</td> <td>0010 16&329</td> </tr> <tr> <td>0011 20&283</td> <td>0011 17&330</td> </tr> <tr> <td>0012 21&284</td> <td>0012 18&331</td> </tr> <tr> <td>0013 22</td> <td>0013 19&332</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0014 20&333</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0015 21&334</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0016 22</td> </tr> </table>	[525iシステム]	[625iシステム]	0000 OFF	0000 OFF	0001 10&273	0001 7&320	0002 11&274	0002 8&321	[625iシステム]		0003 12&275	0003 9&322	0004 13&276	0004 10&323	0005 14&277	0005 11&324	0006 15&278	0006 12&325	0007 16&279	0007 13&326	0008 17&280	0008 14&327	0009 18&281	0009 15&328	0010 19&282	0010 16&329	0011 20&283	0011 17&330	0012 21&284	0012 18&331	0013 22	0013 19&332		0014 20&333		0015 21&334		0016 22
[525iシステム]	[625iシステム]																																						
0000 OFF	0000 OFF																																						
0001 10&273	0001 7&320																																						
0002 11&274	0002 8&321																																						
[625iシステム]																																							
0003 12&275	0003 9&322																																						
0004 13&276	0004 10&323																																						
0005 14&277	0005 11&324																																						
0006 15&278	0006 12&325																																						
0007 16&279	0007 13&326																																						
0008 17&280	0008 14&327																																						
0009 18&281	0009 15&328																																						
0010 19&282	0010 16&329																																						
0011 20&283	0011 17&330																																						
0012 21&284	0012 18&331																																						
0013 22	0013 19&332																																						
	0014 20&333																																						
	0015 21&334																																						
	0016 22																																						
[625iシステム] 00 REC LINE 1 :																																							
14 REC LINE 15																																							

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<V BLANK>

No./項目	設定内容
804 BLANK LINE	ビデオ出力信号の垂直ブランキング期間のブランキングON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 全ライン強制ブランキングします。 0001 THRU : 全ラインブランキングしません。 0002 MANU : 各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 ノート: MANU設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に映り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。 サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。
サブ画面	
[525iシステム] 00 LINE 10&273 : 11 LINE 21&284	0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。 [625iシステム]の場合、項目は00 LINE 7&320 : 15 LINE 22&335 となります。

TELETEXTの設定可能ライン数

- 記録・再生フォーマットが25Mbpsの場合

No.800 : ADD LINE 25の設定	設定可能ライン数			
	525モード		625モード	
	660 : UMID REC設定値		660 : UMID REC設定値	
	OFF	ON	OFF	ON
OFF	13	10	14	12
YC422	5	4	7	5
YC411	8	5	10	8
Y1_B/W	13	10	14	12
Y1_BPF C1				
Y2_B/W	5	4	7	5
Y2_BPF C2				

- 記録・再生フォーマットが50Mbpsの場合

No.801 : ADD LINE 50の設定	設定可能ライン数			
	525モード		625モード	
	660 : UMID REC設定値		660 : UMID REC設定値	
	OFF	ON	OFF	ON
OFF	10	9	15	12
YC422				
Y4_B/W				
Y4_BPF C4				

No./項目	設定内容
805 22&285 BLANK	ビデオ信号の22 (285) ラインの出力方法を選択します。 0000 OFF : ブランキングしません。 0001 ON : ブランキングします。
900 LCD PROTECT	液晶保護モードを設定します。 0000 OFF : 保護モードに入りません。 0001 ON : 保護モードに入ります。 ノート: •フロント操作を全くしない場合、あるいは映像が更新されない状態が続いた場合に、約5分後液晶の出力をOFFにします。 •保護モードを解除するには、フロントからのボタン、ダイヤル操作をするか、コントローラからの再生を指示してください。 なお保護モードを解除するために行った操作はそのまま実行されます。
901 BL BRIGHT	液晶のバックライトの明るさを設定します。 0000 NORMAL : 通常点灯です。 0001 HIGH : 明るく点灯します。
902 GUI OUTPUT	GUI画面表示を、ANALOG COMPONENT VIDEO OUT /ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT/SERIAL DIGITAL COMPONENT VIDEO OUTへ出力するかを設定します。 0000 OFF : 出力しません。 0001 ON : 出力します。
903 P.ON GUI	電源投入時にサムネール画面を表示するかを設定します。 0000 OFF : サムネール画面を表示しません。 0001 THUMB : サムネール画面を表示します。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<MENU>

No./項目	設定内容
A00 LOAD	<p>USER1へロードするユーザーファイルを選択します。</p> <p><u>0000</u> <u>USER2</u> : USER2の内容をロードします。</p> <p><u>0001</u> <u>USER3</u> : USER3の内容をロードします。</p> <p><u>0002</u> <u>USER4</u> : USER4の内容をロードします。</p> <p><u>0003</u> <u>USER5</u> : USER5の内容をロードします。</p> <p>ノート: ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。</p>
A01 SAVE	<p>USER1の設定をセーブするユーザーファイルを選択します。</p> <p><u>0000</u> <u>USER2</u> : USER2の内容をセーブします。</p> <p><u>0001</u> <u>USER3</u> : USER3の内容をセーブします。</p> <p><u>0002</u> <u>USER4</u> : USER4の内容をセーブします。</p> <p><u>0003</u> <u>USER5</u> : USER5の内容をセーブします。</p> <p><u>0004</u> <u>LOCKED</u> : すべてのユーザーファイルが、変更禁止状態の場合に表示します。</p> <p>ノート: <ul style="list-style-type: none"> 変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となり、セーブ操作はできません。 </p>

No./項目	設定内容
A02 P. ON LOAD	<p>電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。</p> <p><u>0000</u> <u>OFF</u> : 前回設定したユーザーファイルで起動します。</p> <p><u>0001</u> <u>USER2</u> : USER2の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p><u>0002</u> <u>USER3</u> : USER3の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p><u>0003</u> <u>USER4</u> : USER4の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p><u>0004</u> <u>USER5</u> : USER5の内容をUSER1へロードし起動します。</p>
A03 MENU LOCK	<p>ユーザーファイル (USER2~USER5) のロックモードの設定/解除を選択します。</p> <p><u>0000</u> <u>OFF</u> : ロック解除 (変更可能)</p> <p><u>0001</u> <u>ON</u> : ロック設定 (変更禁止)</p> <p>ノート: USER1のロック設定はできません。</p>

ノート:

- No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE)、No.A02 (P. ON LOAD) は、USER1のみ設定可能な項目です。USER2~USER5では表示されません。
- No.A03 (MENU LOCK) は、USER2~USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

タイムコード/ユーザーズビット/CTLについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことで、オペレータナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字（文字）は0～9とA B C D E Fです。

内部タイムコードの設定

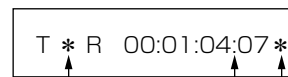
- デッキを停止モードにします。
- COUNTERボタンで「TC」を選択する
- TC REC RUN/FREE RUNスイッチでタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する
REC :
記録中のときに歩進させます。
FREE :
電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。
- TCGスイッチでリジェネモードを設定する
REGEN :
P2カードに記録された最終TCとのTCの連続性を保ちます。
PRESET :
TC PRESETボタンで設定された値から記録を開始します。
- TC PRESETボタンを使ってタイムコード/ユーザーズビットの開始番号を設定する
 - TC PRESETボタンを押す
左端の桁が点滅します。
 - SEARCHボタンを押しながらサーチダイヤルを回して値を変更する
 - サーチダイヤルを回して、設定する桁を選択する
選択された桁は点滅します。
設定範囲は次のとおりです。
 - タイムコード
[525iシステム]
00:00:00:00 – 23:59:59:29
[625iシステム]
00:00:00:00 – 23:59:59:24
 - ユーザーズビット
00:00:00:00 – FF FF FF FF
 - ステップ②と③を繰り返して、値を変更する
 - 開始番号の設定終了後、SETボタンを押す
「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを進行させます。
 - 記録を行う

外部タイムコードの設定

- デッキを停止モードにする
- COUNTERボタンで「TC」を選択する
- TCGスイッチの位置を「EXT」にする
(外部タイムコードの選択)
- セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL)で以下の設定をする
LTC :
リアパネルのTIME CODE IN端子 (XLR) に入力されるLTC信号が、TCとして記録されます。
ノート :
LTCは、ビデオ信号と同期している必要があります。
VITC :
入力ビデオ信号のVITCがTCとして記録されます。

タイムコード/ユーザーズビットの再生

- デッキを停止モードにする
- COUNTERボタンで「TC」または、「UB」を選択する
- PLAYボタンを押す
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
SUPERスイッチの位置が「ON」の場合、VIDEO OUT 3/SDI OUT3端子（オプション）からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。



タイムコード信号が欠如したとき、*表示になります。

“ ” : 第1、第3 フィールド
“ * ” : 第2、第4 フィールド
ドロップフレームモードのときは、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

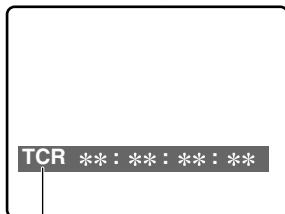
CTLモード

- デッキを停止モードにする
- COUNTERボタンで「CTL」を選択する
再生時は、先頭から再生する相対位置を示します。
記録時は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始します。記録終了時、MODEスイッチがPBに設定されていると、先頭からの相対位置を表示します。

スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

モニターテレビ



省略文字

CTL : コントロール信号のカウンタ値

TCR : 記録されたタイムコードデータ

UBR : 記録されたユーザビットデータ

TCG : タイムコードジェネレータのタイムコードデータ

UBG : タイムコードジェネレータのユーザビットデータ

ノート:

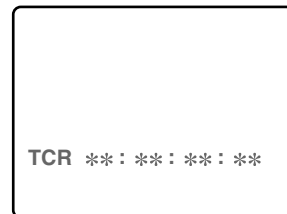
カードから正しくデータを読み取ることができなかったときは、「T*R」や「U*R」が表示されます。

表示文字

スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.011 (CHARA TYPE) で文字の背景を変えることができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.009 (CHARA H-POS) とNo.010 (CHARA V-POS) で変更することができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) でデッキの動作モードも表示されます。



モニターテレビ

デッキ動作モード

出力映像信号とリファレンス

出力信号とリファレンス（基準）信号の関係について説明します。

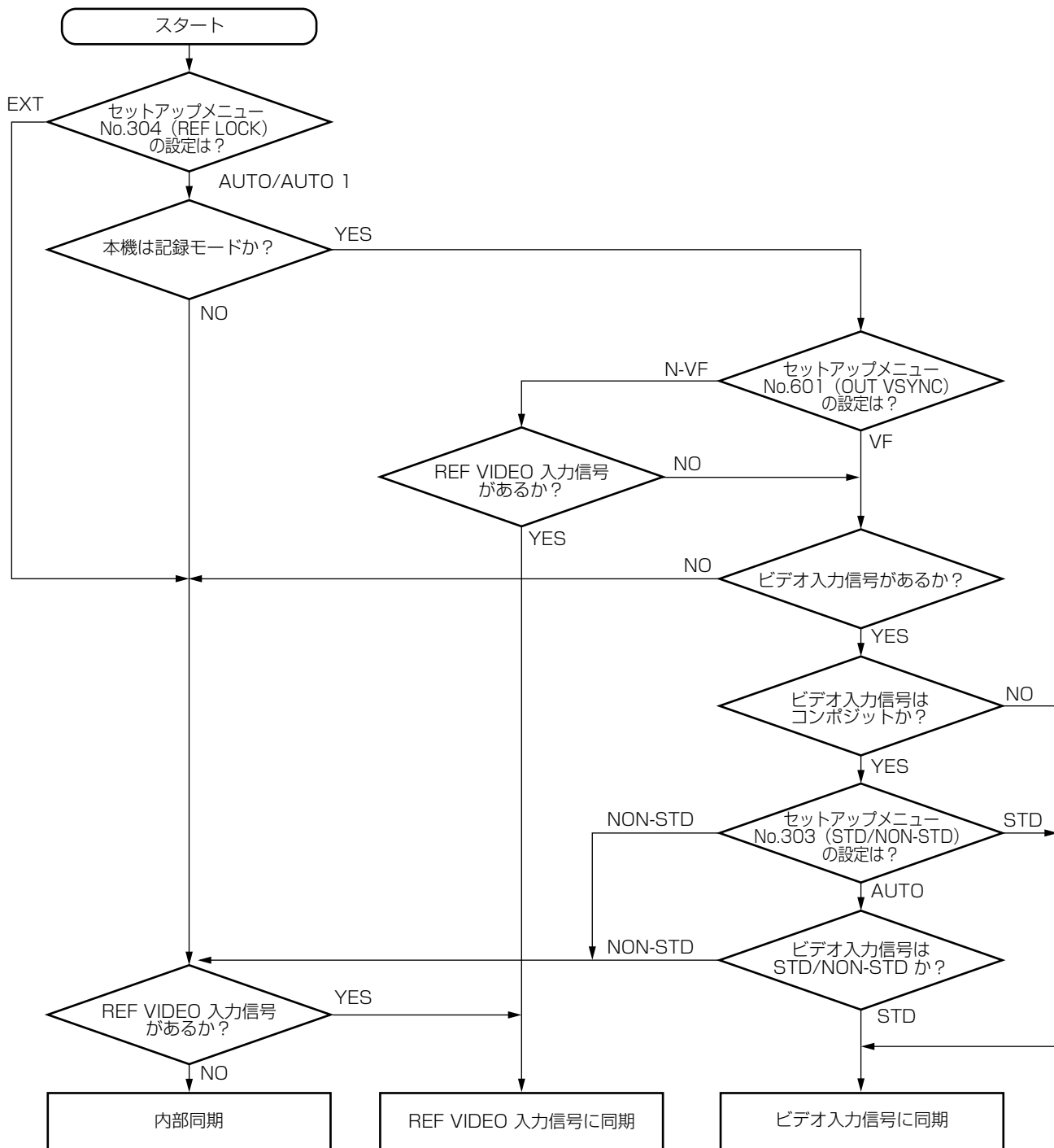
出力映像信号の外部同期

出力映像信号は、REF VIDEO入力信号または、ビデオ入力信号に同期して出力されます。下図のようにセットアップメニューの設定、デッキのモード、ビデオ入力信号の有無に応じて選択されます。

ノート:

セットアップメニューNo.600 (INT SG) でBB、CB100または CB75を選択した場合は、REF VIDEO入力信号の有無により、次のようになります。

- REF VIDEO入力信号がある場合：
REF VIDEO入力信号に同期
- REF VIDEO入力信号がない場合：
内部同期



音声Vフェード機能

クリップ選択再生やプレイリスト再生時などのクリップ間、イベント間のオーディオ処理（セットアップメニュー No.727：PB FADE）で下記のように選択すると、再生時にその部分をVフェード/カット処理します。P2カードにまたがったクリップとエディットコピーにより作られたクリップを下図のように示します。

P2カードにまたがったクリップ

クリップ1-1	クリップ1-2
クリップ1	

エディットコピーにより作られたクリップ

イベントA	イベントA'
クリップ1	

以下、エディットコピーにより作られたクリップがある場合を例に説明します。

• CUT を選択した場合

イベントA	イベントA'	イベントB
クリップ1		クリップ2

↑ ↑
編集の繋ぎ目でノイズが出ます。

• FADE を選択した場合

すべてのクリップ間、エディットコピーしたクリップのイベント間などすべてVフェード処理します。

イベントA	イベントA'	イベントB
クリップ1		クリップ2

↑ ↑
瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

• AUTOを選択した場合

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップをプレイリストに登録した際のイベント間を除き自動的にVフェード処理します。

イベントA	イベントA'	イベントB
クリップ1		クリップ2

↑
瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

ノート：

本設定は、電源ONのときにのみ有効となります。

音声の記録チャンネルとモニター出力の選択

■音声の記録チャンネル

フロントパネルのAUDIO MIXスイッチ、REC CH1/CH3ボタンとREC CH2/CH4ボタンを操作することにより、以下のように音声を選択できます。

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH2	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH3	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH4	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力

■モニター出力チャンネル

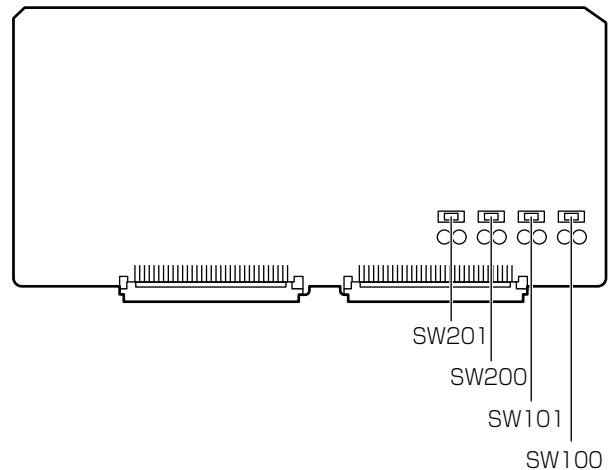
MONITOR SELECTボタンとMONITOR MIXボタンにより、以下のように選択できます。

モニター出力	出力信号
L	CH1/CH2/CH3/CH4/CH1+CH2/ CH3+CH4/CH1+CH3/CH2+CH4
R	CH1/CH2/CH3/CH4/CH1+CH2/ CH3+CH4/CH1+CH3/CH2+CH4

回路板

F1基板 (AUDIO)

スイッチNo.	設定目的
SW100	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH1のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 <u>HIGH/600Ω</u>
SW101	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH2のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 <u>HIGH/600Ω</u>
SW200	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH3のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 <u>HIGH/600Ω</u>
SW201	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH4のAUDIO入力インピーダンスを設定します。 <u>HIGH/600Ω</u>



下線部の項目は、工場出荷モードです。

ラックマウント

本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P（別売品）をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。

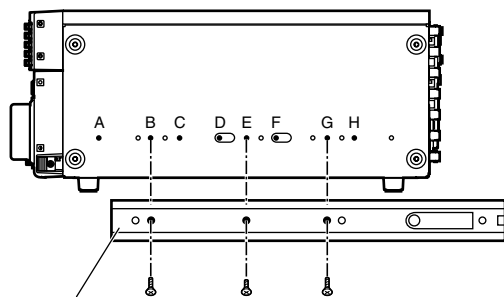
取り付けレールは、摂津金属工業株式会社製18インチレール（品番C-305-18）とブラケット（品番RBA2-35）を使用することをお勧めします。

詳しくは販売店にご相談ください。

(1) スライドレールのインナーメンバーを取り付ける

ネジ止め位置は、下図を参照してください。

インナーメンバー右（R）側のネジ止め位置



インナーメンバー

ノート：

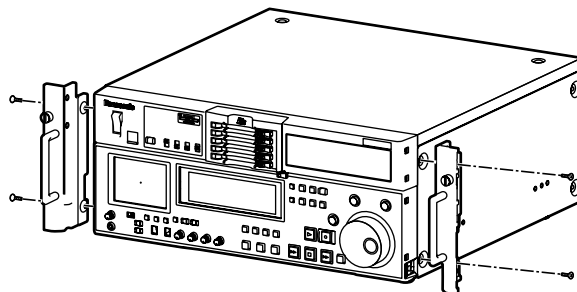
- 使用するネジには、長さの制限があります。（B、H：10 mm、F：6 mm）
- 左（L）側も対称の位置で取り付けてください。
- インナーメンバーは、片側3個ずつ（計6個）のネジで止めてください。
- サイドパネルには、アルファベットの刻印はありません。

(2) アウターメンバーのブラケットをラックに取り付ける

左右の高さが同じであるかを確認してください。

(3) 左右のサイドパネルを取り付けている、フロント側のネジ4本を外す

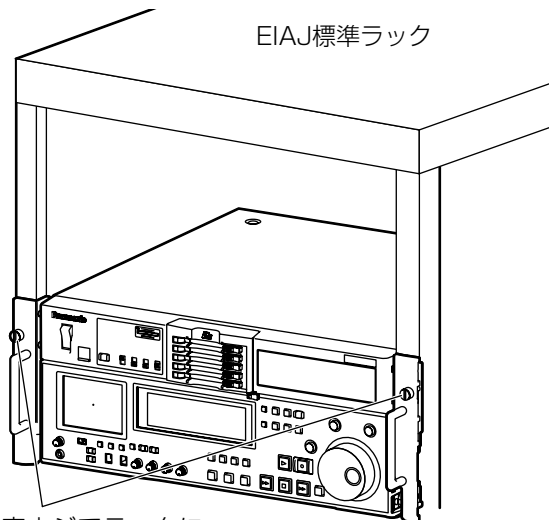
(4) 取り外したネジ4個で、ラックマウントアダプターAJ-MA75Pを取り付ける



ラックマウントアダプター

(5) 本機底面のゴム足（4か所）を外し、本機をラックに取り付ける

取り付け完了後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



EIAJ標準ラック

固定ネジでラックに固定してください。

ノート：

- ラック内の温度は5℃～40℃に保ってください。
- デッキを引き出したときにラックが倒れないように、ラックをしっかりと床にボルトで固定してください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。

本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。

汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。

汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

ノート：

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号を表示します。

ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号を点滅表示します。

■ ダイアグメニュー

デッキの情報を表示します。デッキの情報にはワーニング情報、デッキシリアルNo.、アワーメータ（使用時間）情報、UMID情報があります。モニターテレビとリアパネルのVIDEO OUT 3 / SDI OUT 3端子（オプション）を接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

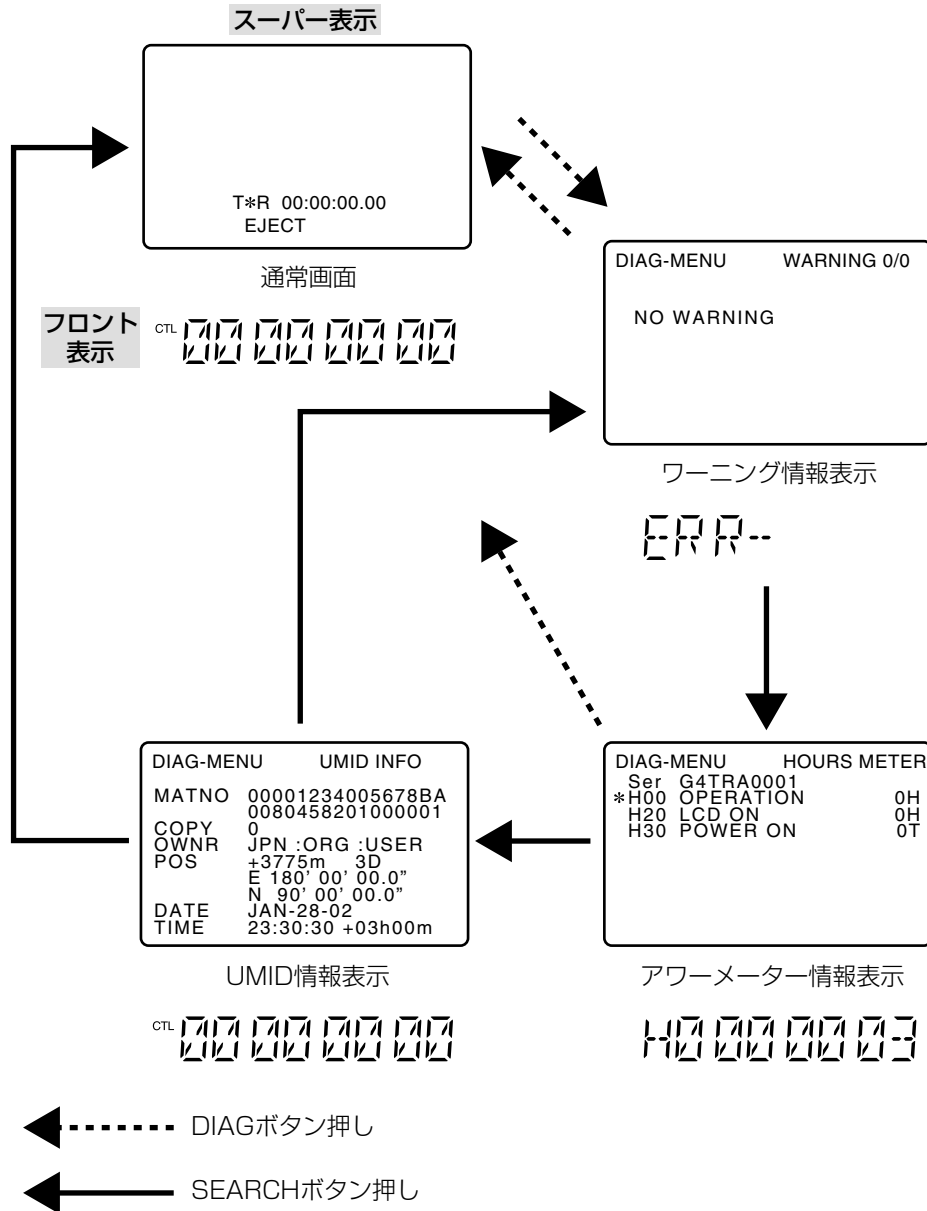
■ ダイアグメニューの表示

(1) DIAGボタンを押す

モニターテレビにダイアグメニューの画面が表示され、カウンター表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。

(2) SEARCHボタンを押す

押す毎に、ワーニング情報、アワーメータ情報、UMID情報の表示が切り替わります。再度DIAGボタンを押すと、もとの表示に戻ります。



エラーメッセージ (つづき)

■ ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、ワーニングメッセージを表示します。
ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。
セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) でT&S&M が選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。
複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

ワーニング情報

優先度	モニター表示	内容	デッキ動作	カウンター表示部
高い ↑ ↓ 低い	BUSY	クリップ情報を読みこみ中や、クリップ構成が変化しているときに表示します。 この表示中には、操作ができません。 【判定】 • カード挿抜時 • UPDATING中 • 記録後処理中 • その他	動作継続	BUSY
	CANNOT REC	P2カードに記録ができないときに表示します。 【判定】 • ライトプロテクトされている時に、記録する • カードに容量が無い時に、記録する • 使えないカードに記録する • 記録中にカード状態が変わった	STOP	CANT REC
	CANNOT PLAY	クリップの異常などで、再生を停止したときに表示されます。 【判定】 • クリップが無い時に、再生する • 使えないカードに再生する • その他の原因で再生受け付けられない or 再生停止	STOP	CANTPLAY
	INT SG	INPUT SELECT VIDEOボタンでSG、SG1、SG2が選択されている、あるいは、INPUT SELECT AUDIOボタンでSGが選択されている場合に、RECボタンを押してE-Eモードになる開始2秒間表示されます。	動作継続	INT SG
	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTボタンにより選択されている端子に入力信号が無い場合に、RECボタンを押してE-Eモードになる開始2秒間表示されます。	動作継続	NO INPUT
	MARK ON/MARK OFF	ショットマークを付加、消去したときに2秒間表示されます。	動作継続	MARK ON/ MARK OFF

カウンター表示部にE-***が点灯した場合、DIAG-MENUを開くことにより内容が表示されます。

優先度	カウンター表示部		内容	デッキ動作
	番号	メッセージ		
高い ↑ ↓ 低い	E-21	REC WARNING	記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示します。 一度、パワーオフしてからご使用ください。	STOP
	E-25	IRREGULAR CLIP	正常でないクリップがあるとき表示します。 このままでも記録可能ですが、タイムコードをリジエネする必要があるなどの場合は、クリップを修復してください。 修復後は、一度パワーオフしてからご使用ください。	動作継続
	E-10	FAN STOP	ファンモータが停止したときに表示します。 ファンモータに異物が入っていないか確認してください。	動作継続

エラーメッセージ (つづき)

エラー情報

エラー		内容	デッキ動作
番号	メッセージ		
E-30	TURN POWER OFF	カードの読み書きに異常が発生したときに表示します。 一度、パワーオフしてからご使用ください。	STOP
E-37	COMM ERROR	3秒経過しても、システムコントロールの指示に従わない場合に表示します。 一度、パワーオフしてからご使用ください。	STOP
E-38	SYSTEM ERROR	通信異常が発生したときに表示します。 一度、パワーオフしてからご使用ください。	STOP
E-50	BATTERY EMPTY	電源ON時に、内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出したときに表示します。 内蔵電池を交換してください。	動作継続
E-61	DVD DRIVE ERROR	DVDドライブユニットとの接続または、制御に異常が発生したときに表示します。DVDドライブユニットを接続していない場合は、DVDの設定を [DISABLE] にしてください。接続している場合はDVDドライブユニットの取扱説明書を参照してください。	STOP

■ LANモードのエラー情報

番号	メッセージ	内容
E-41	LAN NO LINK	LANの接続に問題があるときに表示します。 LANの接続を確認してください。 一度、パワーオフしてからご使用ください。
E-43	DHCP TIMEOUT	DHCPサーバとの接続に問題があるときに表示します。 DHCPサーバの設定を確認してください。 一度、パワーオフしてからご使用ください。
E-49	LAN ERROR	LANの接続・切断に失敗したときなどに表示します。 一度、パワーオフしてからご使用ください。 再度E-49が表示される場合は、LANの設定・接続を確認してください。

■ アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル (*) が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンター表示部に表示します。

番号	項目	内容	カウンター表示部
Ser	*****	デッキのシリアルNo.を表示します。	
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。	0H ~ 99999H
H20	LCD ON	液晶モニターが、点灯している時間を1時間単位で表示します。	0H ~ 99999H
H30	POWER ON	電源の投入された回数を1回単位で表示します。	0T ~ 99999T

ノート:

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店でリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

■ 電池の交換

バックアップ電池が消耗すると「E-50」が表示されます。お買い上げの販売店にご相談のうえ、新しい電池 (CR2032 相当品) と交換してください。電池交換後は、必ず内蔵の時計の設定を、セットアップメニューNo.069 (CLOCK SET) で行ってください。

RS-232Cインターフェース

RS-232C インターフェースを使用することにより、コマンドによるデッキ操作が可能になります。
(66、67ページのコマンド一覧をご参照ください。)

■ RS-232Cインターフェースからのコマンド受け付け条件

- フロントパネルのREMOTEボタンが点灯
 - セットアップメニューNo.204 (RS232C SEL) がON
- 上記条件が成立していない場合は、外部に対して [ACK] + [STX] EROO1 [ETX] の返答を行います。 [ACK] の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目No.209 (RETURN ACK) の設定に従います。

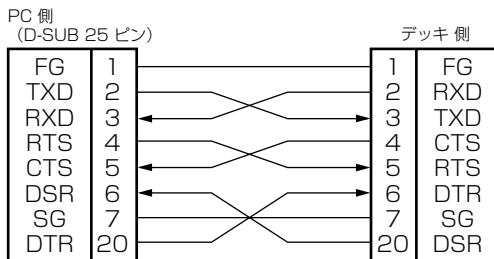
■ ハードウェア仕様

外部インターフェース仕様

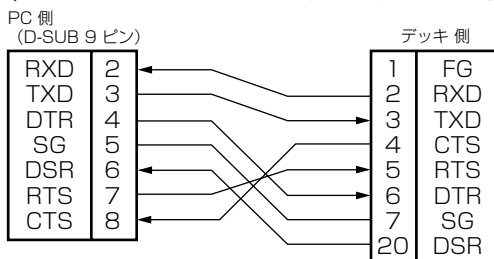
- 端子仕様
コネクター：
D-SUB 25 ピン (クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地 (フレームグラウンド)
2	RXD	受信データ (PCへデータを送信する)
3	TXD	送信データ (PCからデータを受信する)
4	CTS	送信可 (5番ピンと短絡)
5	RTS	送信要求 (4番ピンと短絡)
6	DTR	データ端末レディ (未処理)
7	SG	信号用接地 (信号用GND)
20	DSR	データ・セット・レディ (通信可能状態後正電圧出力)

- コントローラ (PC) との接続例
(D-SUB 25 ピン クロスケーブルを使用)



(D-SUB 9 ピン-25 ピン クロスケーブルを使用)



■ ソフトウェア仕様 (プロトコル)

通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7bit/8bit
ストップビット	1bit/2bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACK コード	返信する/返信しない ノート： ACK コードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、デッキ側からコントローラに対して返信するコードのことです。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACK コード	No.209 RETURN ACK

送信フォーマット

[コントローラ (PC) → デッキ]

データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]
02h XX XX XX 3Ah XX....XX 03h

20H<XX<7FH

(XX=ASCIIコード：記号、数字、英大文字)

[command] :

コマンド識別子 (3バイト) です。
コマンドとして3バイトの識別子 (ASCIIコード：記号、数字、英大文字) を送信します。

[:] :

コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。

[data] :

必要なバイト数のデータ (ASCIIコード：記号、数字、英大文字) を付け加えることができます。

コントローラからの送信手順概略

- 送信コマンドは、STX (START OF TEXT = 02h) で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。最後にETX (END OF TEXT = 03h) で終了します。
- 新たに別のコマンドを送信する場合は、デッキからの応答を待ってから送信します。
- ETXを送信する前に再度STXを送信すると、デッキ側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

RS-232Cインターフェース (つづき)

返信フォーマット

[デッキ → コントローラ (PC)]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

通信が正常終了した場合

- ① 受信完了メッセージを返信する

[ACK]

06h

- ② 実行完了メッセージを返信する

[STX] [command] [data] [ETX]

02h XX XX XX XX.....XX 03h

[command] :

返信するメッセージ (データ) または、実行完了のメッセージ識別子です。

[data] :

返信するデータです。省略が可能です。

example:

送信コマンド 返信メッセージ (データ)
[STX] OPL [ETX] → [ACK] [STX] OPL [ETX]

通信が異常終了した場合

[NACK]

15h

間違ったデータまたはデッキに異常があり処理できない場合

- ① 受信完了メッセージを返信する

[ACK]

06h

- ② エラーコードを返信する

[STX] [ERN₁ N₂ N₃] [ETX]

02h エラーコード 03h

エラーコード一覧

ER001 : 無効コマンド

- 未対応コマンド受信
- コマンド実行エラー

ER002 : パラメータエラー

ER1FF : デッキシステムエラー

コマンド一覧

動作制御 (Operation) 関連コマンド

ノート:

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後にER001 (無効コマンド) を返信します。

デッキ操作	送信コマンド	返信 (完了) メッセージ
STOP	[STX] OSP [ETX] ⇔ [STX] OSP [ETX]	現状の動作を停止するコマンドです。
PLAY	[STX] OPL [ETX] ⇔ [STX] OPL [ETX]	再生を開始するコマンドです。

デッキ操作	送信コマンド	返信 (完了) メッセージ
REWIND	[STX] ORW [ETX] ⇔ [STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX] 巻き戻し再生するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX] ⇔ [STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX] 早送り再生するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
REC	[STX] ORC [ETX] ⇔ [STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX] 録画を開始するコマンドです。
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX] ⇔ [STX] OSF [ETX]	[STX] OSF [ETX] 正方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : ×0.03 2 : ×0.1 3 : ×0.2 4 : ×0.5 5 : ×1 6 : ×2 7 : ×4 8 : ×8 9 : ×16 A : ×32 ノート: ×16倍速と×32倍速は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX] ⇔ [STX] OSR [ETX]	[STX] OSR [ETX] 逆方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : ×0.03 2 : ×0.1 3 : ×0.2 4 : ×0.5 5 : ×1 6 : ×2 7 : ×4 8 : ×8 9 : ×16 A : ×32 ノート: ×16倍速と×32倍速は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。

RS-232Cインターフェース (つづき)

問い合わせ (Question) 関連コマンド

ノート:

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後にER001 (無効コマンド) を返信します。

デッキ操作	送信コマンド	返信 (完了) メッセージ
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX] ⇔ [STX] CD data [ETX] カウンター値を問い合わせるコマンドです。 data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTL のとき: g = SP(20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0~9 : 時 TC のとき: gh = 00~23 : 時 mm = 00~59 : 分 ss = 00~59 : 秒 [525i システム] ff = 00~29 : フレーム [625i システム] ff = 00~24 : フレーム	
	ノート: フロント表示モードに合わせて、CTLかTCを返信します。	
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX] ⇔ [STX] *** [ETX] デッキの動作モードを問い合わせるコマンドです。 *** = OFF : FAST FORWARD OPL : PLAY ORC : REC ORW : REWIND OSP : STOP SRS : (IN/OUT) PREROLL OSF : SHTL FORWARD OSR : SHTL REVERSE OJG : JOG FORWARD/REVERSE OSW : VAR FORWARD/REVERSE	
ID (機器番号) REQUEST	[STX] QID [ETX] ⇔ [STX] data [ETX] 使用機器を問い合わせるコマンドです。 data = AJ-SPD850	

コネクタの信号

VIDEO IN

SDI IN (DIGITAL)	BNC×2、アクティブスルー (ボード オプション)
Y、PB、PR (ANALOG)	BNC×3 (ボード オプション)
VIDEO IN	BNC×2、ループスルー75Ω終端スイッチ付
REF VIDEO IN	BNC×2、ループスルー75Ω終端スイッチ付

VIDEO OUT

SDI OUT (DIGITAL)	BNC×3
Y、PB、PR (ANALOG)	BNC×3
VIDEO OUT	BNC×3

AUDIO IN

SDI IN (DIGITAL)	BNC×2、アクティブスルー
AUDIO IN (DIGITAL)	BNC×2 (CH1/CH2、CH3/CH4) AES/EBUフォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR×4 (CH1、CH2、CH3、CH4)
TIME CODE IN	XLR×1

AUDIO OUT

SDI OUT (DIGITAL)	BNC×3
AUDIO OUT (DIGITAL)	BNC×2 (CH1/CH2、CH3/CH4) AES/EBUフォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR×4 (CH1、CH2、CH3、CH4)
TIME CODE OUT	XLR×1
MONITOR OUT	XLR×2 (L/R)
HEADPHONES (フロント)	M3、ステレオ

RS-422A REMOTE (9P) (REMOTE)

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	—
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	FRAME GROUND

RS-232C

(D-SUB 25 ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地 (フレームグランド)
2	RXD	受信データ (PCへデータを送信する)
3	TXD	送信データ (PCからデータを受信する)
4	CTS	送信可 (5番ピンと短絡)
5	RTS	送信要求 (4番ピンと短絡)
6	DTR	データ端末レディ (未処理)
7	SG	信号用接地 (信号用GND)
20	DSR	データ・セット・レディ (通信可能状態後正電圧出力)

ENCODER (15P)

ピンNo.	信号内容
1	—
2	BLACK LEVEL
3	C LEVEL
4	GND
5	+9V
6	SYSTEM H 0
7	SYS. SC COARSE (2)
8	-9V
9	CHROMA PHASE
10	VIDEO LEVEL
11	RET GND
12	—
13	—
14	SYS. SC FINE
15	SYS. SC COARSE (1)

定格

総合

電源 : AC 100-240 V、50/60 Hz
消費電力 : 80 W、105 W (フルオプション)

は安全項目です。

動作周囲温度 :

5 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度 :

10 % ~ 80 % (結露無し)

質量 :

15 kg

外形寸法 (幅×高さ×奥行) :

424 mm×175.2 mm×430 mm

(セット足、ジャック、サーチャイダルを除く)

記録フォーマット :

DVCPR050/DVCPR0/DVフォーマット切換

記録ビデオ信号 :

525iシステム/625iシステム切換

記録オーディオ信号 :

DVCPR050 : 48 kHz 16bits 4CH

DVCPR0/DV : 48 kHz 16bits 2CH
(4CH切換可)

記録時間 :

カード品番	使用枚数	記録方法	
		DVCPR0 (オーディオ 2CH)	DVCPR050 (オーディオ 4CH)
AJ-	1枚	約 8分	約 4分
P2C002SG	5枚	約 40分	約 20分
AJ-	1枚	約 16分	約 8分
P2C004HG	5枚	約 80分	約 40分

ノート :

上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録した場合のものです。

記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くなる場合があります。

デジタルスロー :

-1.0 ~ +1.0倍速

ビデオ

デジタルビデオ

サンプリング周波数 :

Y : 13.5 MHz、P_B/P_R : 6.75 MHz (DVCPR050)

量子化 :

8 bits

ビデオ圧縮方式 :

DV-Based Compression (SMPTE 314M)

ビデオ圧縮比率 :

DVCPR050 : 1/3.3

DVCPR0 : 1/5

エラー訂正 : リードソロモンプログラクトコード

ビットレート :

DVCPR050 : 50 Mbps

DVCPR0 : 25 Mbps

コンポーネント入力/コンポーネント出力

映像帯域 :

Y : 30 Hz ~ 5.75 MHz (-2.0 dB)

P_B/P_R : 30 Hz ~ 2.75 MHz (-2.0 dB)

S/N比 : 55 dB以上

Kファクター : 1 %以下 (Y 2T)

Y/Cディレイ : 20 nsec以下

コンポジット入力/コンポジット出力

映像帯域 :

Y : 30 Hz ~ 5.5 MHz (-3.0 dB)

Y/Cディレイ : 20 nsec以下

ビデオ入力信号

アナログコンポーネント入力 :

BNC×3 (Y、PB、PR)

Y : 1.0 V [p-p]、75 Ω

P_B/P_R : 0.525/0.757 V [p-p] 切換、

75 Ω (75 %カラーバー、セットアップレベル0 %)

アナログコンポジット入力 :

BNC×2、ループスルー、75 Ω ON/OFF

VIDEO : 1.0 V [p-p] (75 Ω)

リファレンス入力 :

アナログコンポジット、BNC×2、ループスルー、

75 Ω ON/OFF

SDI入力 (オプション) :

BNC×2、アクティブスルー、

SMPTE 259M-C規格に準拠

ビデオ出力信号

アナログコンポーネント出力 :

BNC×3 (Y、PB、PR)

Y : 1.0 V [p-p]、75 Ω

P_B/P_R : 0.525/0.757 V [p-p] 切換、

75 Ω (75 %カラーバー、セットアップレベル0 %)

アナログコンポジット出力 :

BNC×3、ビデオ1、ビデオ2、

ビデオ3 (スーパーON/OFF)

SDI出力 (オプション) :

BNC×3、SMPTE 259M-C規格に準拠

SDI 1、SDI 2、SDI 3 (スーパーON/OFF)

ビデオ調整範囲

ビデオ出力ゲイン :

±3 dB

ビデオ出力クロマゲイン :

±3 dB

ビデオ出力HUE (クロマ位相) :

±30°

ビデオ出力セットアップレベル :

±14 IRE

ビデオ出力シンク位相 :

±15 μsec

ビデオ出力SC位相 :

±180°

定格 (つづき)

オーディオ

■ デジタルオーディオ

サンプリング周波数:

48 kHz (ビデオに同期)

量子化:

16 bits

周波数特性:

20 Hz~20 kHz \pm 1.0 dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ:

90 dB以上 (1 kHz、エンファシスOFF、“A” weighted)

歪率:

0.05 %以下 (1 kHz、エンファシスOFF、基準レベル)

クロストーク:

-80 dB以下 (1 kHz、2チャンネル間)

ヘッドルーム:

20 dB

ディエンファシス:

T1=50 μ sec、T2=15 μ sec (ON/OFF自動切換)

■ オーディオ入力信号

アナログ入力 (CH1、CH2、CH3、CH4):

XLR \times 4、600 Ω /ハイインピーダンス切換可能

(600 Ω で出荷)

+4/0/-20 dBm切換可能

デジタル入力 (CH1/CH2、CH3/CH4):

BNC \times 2、AES/EBUフォーマット

SDI入力 (オプション):

BNC \times 2、アクティブスルー、

SMPTE 259M-C/272M-A規格に準拠

■ オーディオ出力信号

アナログ出力 (CH1、CH2、CH3、CH4):

XLR \times 4、ローインピーダンス、

+4/0/-20 dBm 切換可能

デジタル出力 (CH1/CH2、CH3/CH4):

BNC \times 2、AES/EBUフォーマット、

75 Ω 、1.0 \pm 0.2 V [p-p]

SDI出力 (オプション):

BNC \times 3、75 Ω 、

SMPTE 259M-C/272M-A規格に準拠

モニター出力:

XLR \times 2、ローインピーダンス、

+4/0/-20 dBm切換可能

ヘッドホン出力:

M3ステレオ、8 Ω 、レベル可変

その他入出力信号

タイムコード入力:

XLR \times 1、0.5~8.0 V [p-p]、10 k Ω

タイムコード出力:

XLR \times 1、ローインピーダンス、2.0 \pm 0.5 V [p-p]

RS-422A入出力:

D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース

RS-232C:

D-sub 25pin、RS-232Cインターフェース

エンコーダーリモート:

D-sub 15pin

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社 (裏表紙) までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読み頂いた上、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品

当社では、メモリーカードレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検 (有料) についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードレコーダー
品番	AJ-SPD850
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

松下電器産業株式会社 システム事業グループ
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

